

テートウの判断

18禁

鉄底海峽

蛸壺屋

テートクの決断

鉄底海峡



TAKOTUBOYA



大和



比叡



霧島



瑞鶴



翔鶴



龍驤



隼鷹



千歳



高雄



愛宕



那智



青葉



足柄



鳥海



利根



熊野



古鷹



川内



神通



長良



名取



鹿島



夕張



球磨



天龍



五十鈴



睦月



夕立



朝雲



陽炎



伊19



伊8

で

我軍の空母は

……これで
全部なの？



正規空母「瑞鶴」
搭載82機

まーまー
瑞鶴はん

そんな難しい顔は
やめて

景気悪そうに
してたらツキも
逃げちゃうし

せやせや
気合だけでも
負けんように
せんとな!

軽空母「龍驤」
搭載48機

祥鳳姉さんの
仇討ちたいです

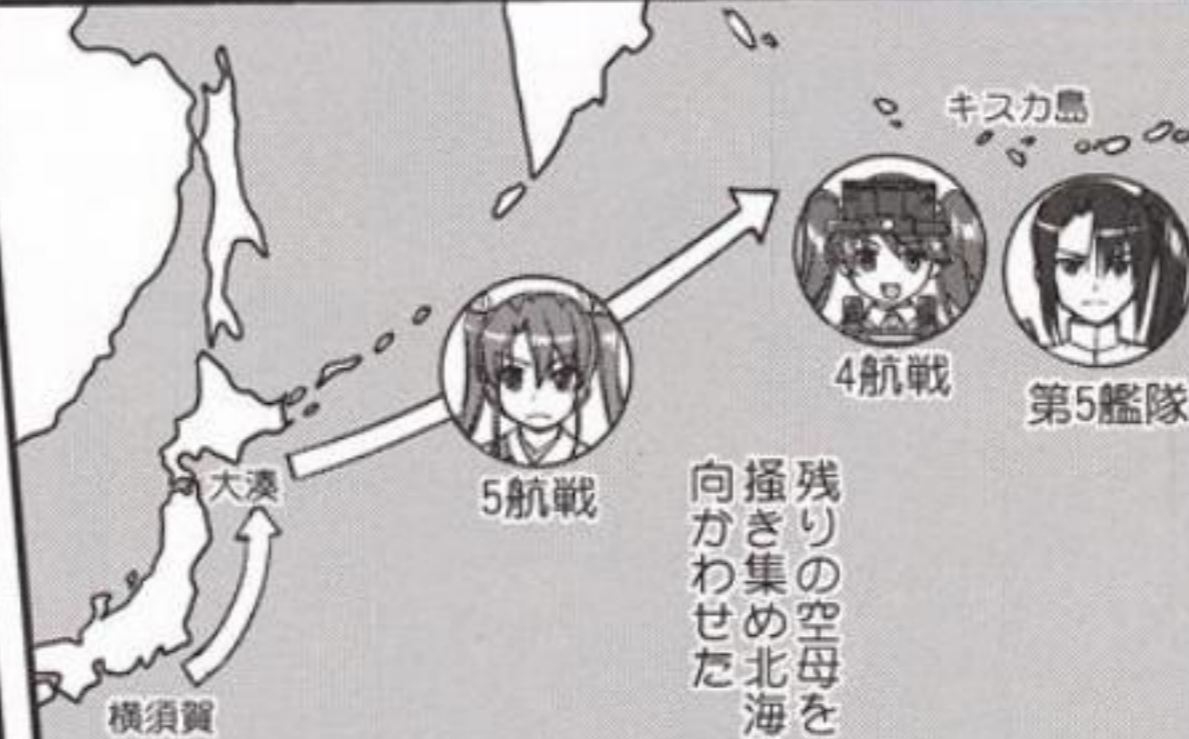
軽空母「瑞鳳」
搭載30機

軽空母「隼鷹」
搭載52機



6月24日
連合艦隊司令部は
ミッドウエーで日本を
破った米空母部隊が
アリューシャンを攻撃に
来ると予想し

残りの空母を
掻き集め北海に
向かわせた



あ
ダメダメ

角度浅いぞ!
ぶつかると!



ひびき



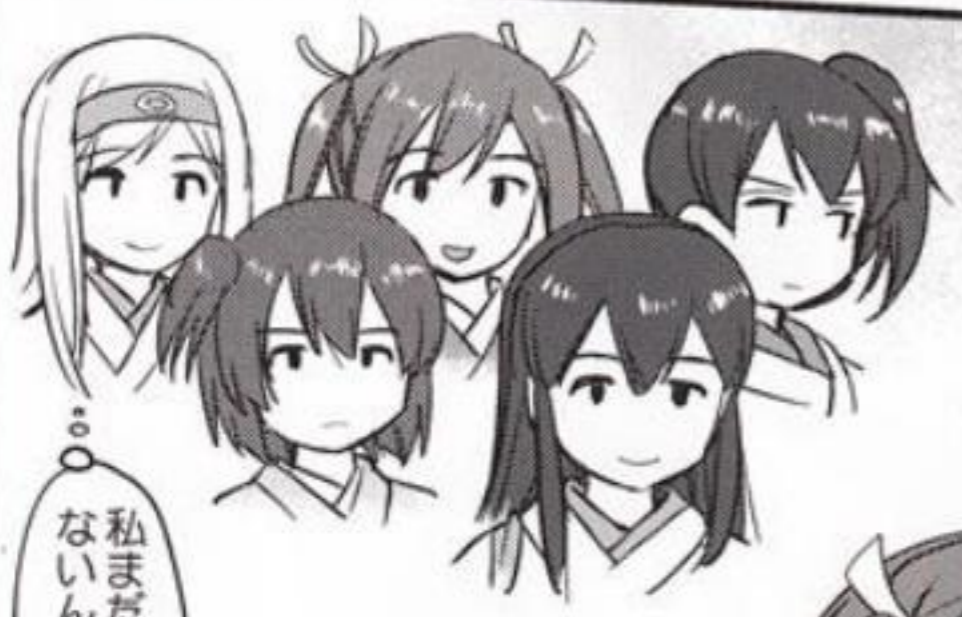
ちやうちやうそんなんじややられるで！
おつちやん酒エ抜けてへんのか！



やー竣工してすぐ引っ張り出されたからお手柔らかに頼むわ



わずか半年前にハワイを攻撃した日本が誇る空母機動部隊
今ここに
いるのはもう私だけなんて



私まだ沈んでないんだけど...

7月5日
不知火ら第18駆逐隊が
キス力増援部隊と
共に到着した



だが同日は霧が深く
停泊中の駆逐隊は
米潜水艦の襲撃を受けた
『霞』『子日』が沈没
『不知火』『霞』が大破し
第18駆逐隊は壊滅した

きやあー！

霞！

結局アリュウシヤンに
敵空母は現れず
瑞鶴達は2週間ほどで
横須賀へ戻った



南方では
攻略が終わった各々の艦隊が
そのまま担当地域の
警備・護衛任務へ移行した



南西方面艦隊

香椎

第3南遣艦隊
(旧第3艦隊から分離)

第1南遣艦隊
(旧南遣艦隊)

第2南遣艦隊
(旧第3艦隊)

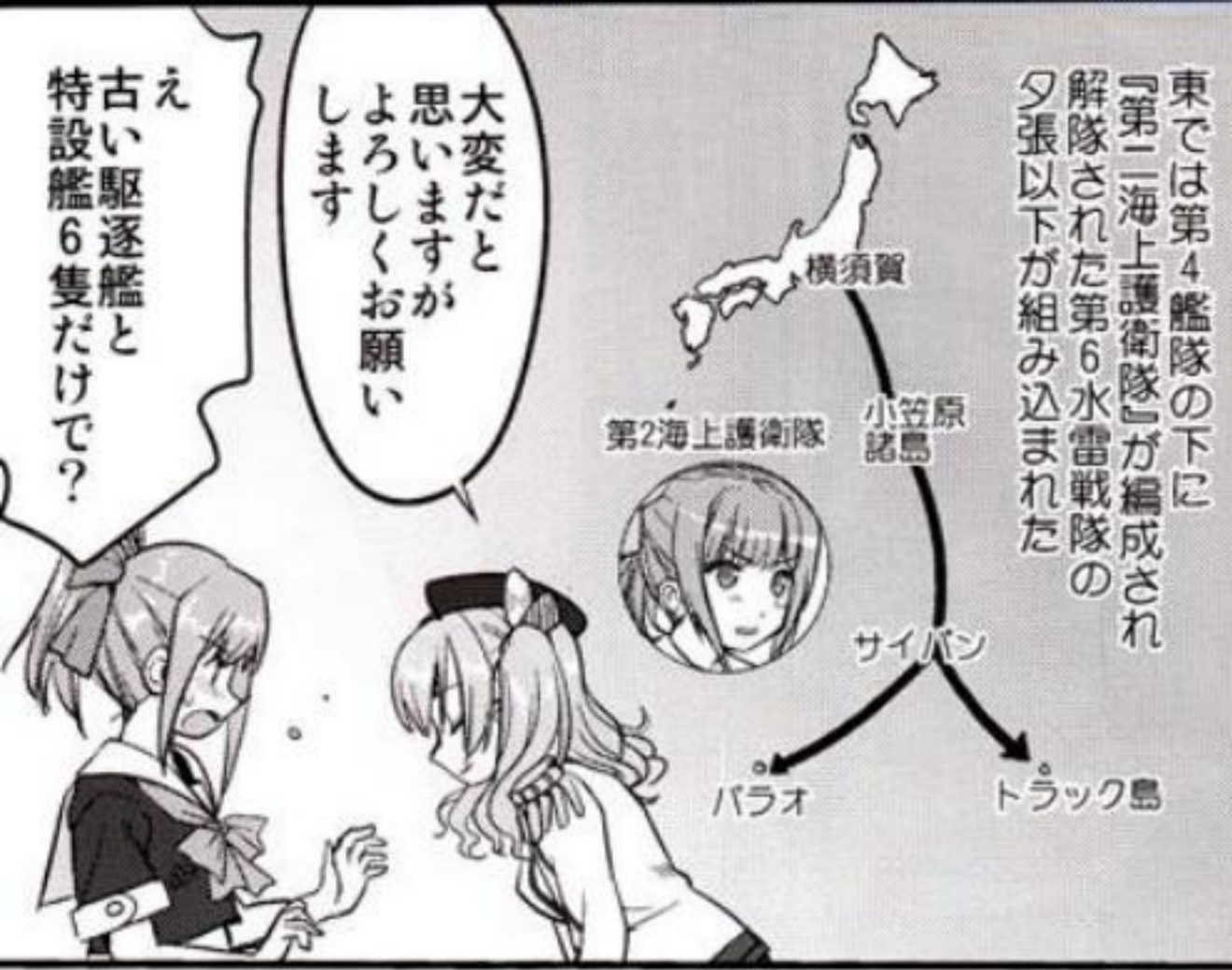
南方資源地帯はまづめて『南西方面艦隊』として指揮系統が統一され
東の敵の前面には、新たに鳥海旗艦の『第8艦隊』が新設された





南西方面艦隊の下には内地への資源輸送レーン護衛に『第一海上護衛隊』が編成された

第1海上護衛隊
第22駆逐隊
ほか18隻



東では第4艦隊の下に『第二海上護衛隊』が編成され解隊された第6水雷戦隊の夕張以下が組み込まれた

第2海上護衛隊

大変だと
思いますか
よろしくお願
い
します

え
古い駆逐艦と
特設艦6隻
だけで?



軍司令部はミッドウエー敗戦の後始末を続けていた

被害の実情は首相の東條にも天皇にも知らされず

司令官達の更迭や異動も行われなかつた

海軍の人事を行うのは内閣の海軍大臣であり

その海軍大臣は海軍の推薦で選ばれる

軍令(艦隊の運用)
海軍軍部・軍司令部

選出

選出

軍政(海軍の人事)
海軍省・海軍大臣

組織の代表者を送るようなもので厳しく結果責任を追求し合うような関係ではなかった



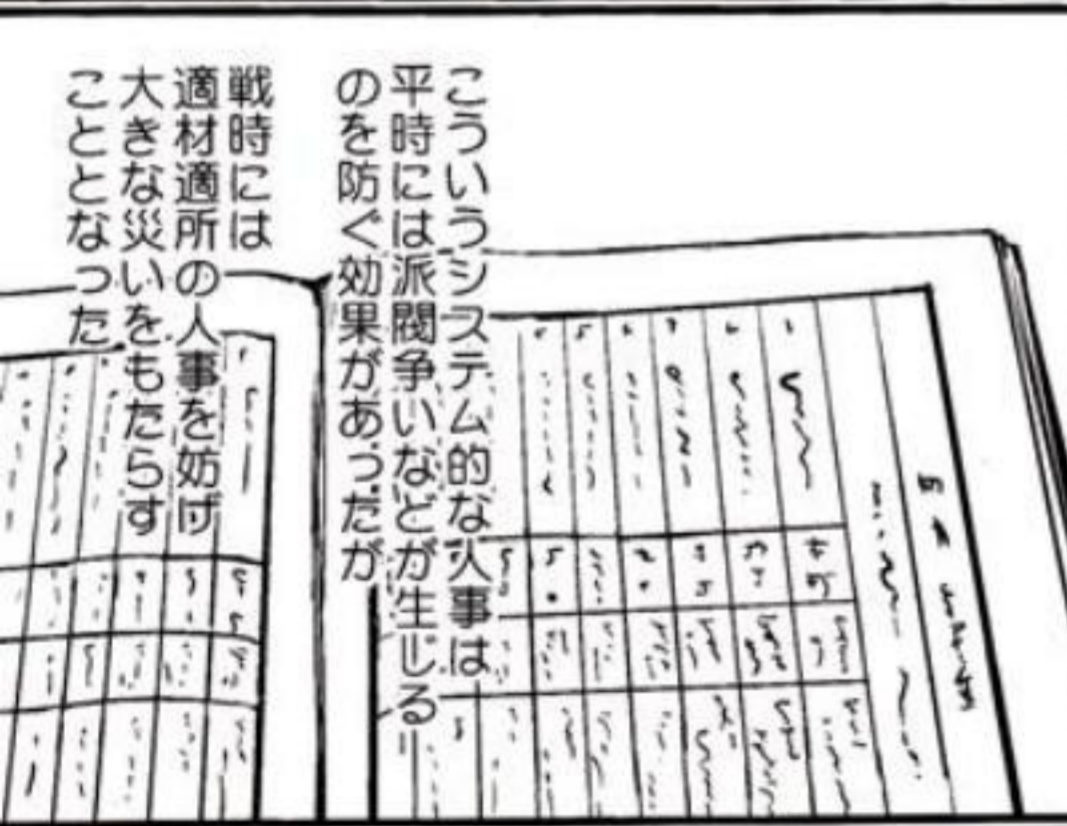
嶋田さんなら東條と上手くやっつけていけるんじゃないかしら



そしてそれら全員が海軍兵学校の先輩後輩でありいわゆる同じ釜の飯を食った者同士である

兵学校では鉄拳制裁によって規律と上下関係が叩きこまれていた(皇族関係者を除く)

任官は期生(学年)とハンモックナンバー(成績)で順番に決まり先輩が後輩の命令を受けることが絶対に無いようになっていた



こういうシステム的な大事は平時には派閥争いなどが生じるのを防ぐ効果があつたが

戦時には適材適所の人事を妨げ大きな災いをもたらすこととなつた



さらに海軍の艦隊司令官以上陸軍の師団長以上は天皇が親任式を行う『親補職』であり建前上は天皇以外が辞めさせることは出来なかつた

敗北を報告しない以上更迭の理由もなかつた

とはいえこれだけの敗北に組織として何の改善策も打たない訳にはいかなないので部下の参謀達が一斉に更迭される事となつた

ミッドウエー海戦で空母がやられた後

戦艦部隊や水雷戦隊が健在にも関わらず

敵機動部隊に対してなすすべがなかつたことは軍司令部にシヨックを与えていた



クソオオオオオオ

空母こそが
勝敗を決めるのだ

とにかく
一刻も早く空母を
充実させないといかん

建艦計画が
根本から変更された

アメリカの両洋艦隊法に
対抗した大計画『⑤計画』から

戦艦と重巡を全廃
正規空母を3隻から18隻

と大幅に増やし『改⑤計画』とした

建造中だった
大和型三番艦も
空母への変更を決定

さらに
戦艦『伊勢型』『扶桑型』
巡洋艦『利根型』『最上型』
の空母への改造も検討された

大艦隊を動員した
ミッドウェー作戦は
石油問題も悪化させた



開戦時備蓄840万トンのうち
この作戦で60万トンを
消費していた

こうして様々な
手は打ったものの

軍令部では早くも
戦争のやめ時が
意識され始めた

もう
たいした空母は
残っていない

アメリカとの
講和を検討すべきだ

翔鶴姉エ
怪我はどう？

瑞鶴
北海任務から
戻ったのね
お疲れさま

聞いた？
これから私達が
『一航戦』だって

あはは
他にいないものね

敢闘精神不足って
怒られたのに…

あと
もう一人

瑞鳳です
一航戦に配属される
なんて光栄です！

おっちゃん
聞いて驚け
ウチら二航戦やで！

へー
そりやまた
えらい出世じゃん

飛鷹
二航戦だってさ

隼鷹あなた
先任空母の龍驤さんに
なんて口の利き方

空母機動部隊の再建は
ミッドウエー戦の航空参謀
源田実の案で行われた

指揮系統の統一

第1航空艦隊を
新『第3艦隊』として建制化し
護衛艦を直接指揮下に置く

第7艦隊も
加わった
わよ



防空レーダーの搭載

翔鶴と隼鷹・飛鷹に
実用テスト中の
21号電探を装備する
（手で敵の方向を合わせ
ると距離だけわかる）



この辺が
敵っぽい

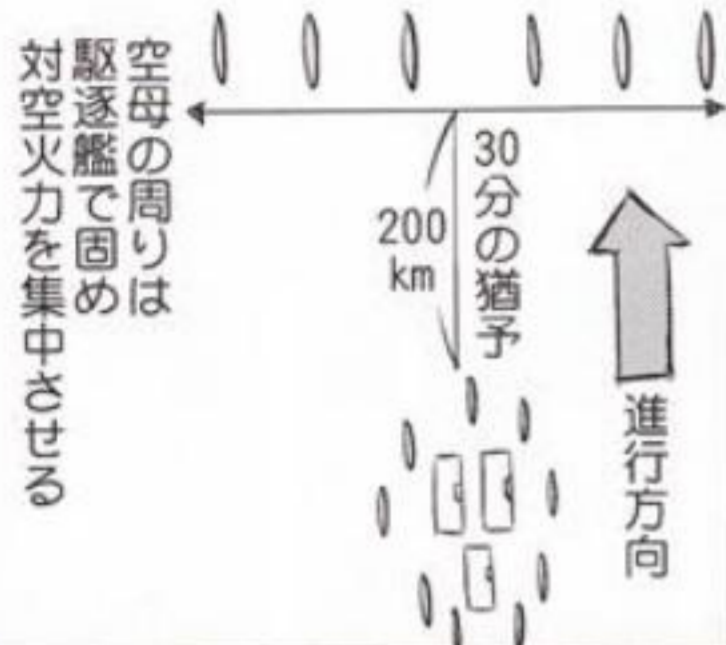
無いよりは
あった方が



空母の守りの徹底

航空戦隊は
空母3隻編成とし
1隻は防御を担当する

艦隊は索敵と敵を引き付け
る役割を兼ねた護衛部隊を
空母より200km先に展開
させて進む



空母の周りは
駆逐艦で固め
対空火力を集中させる



もう
噂になってるし
隠しても意味ないよ



吹雪さん
一航戦二航戦の4人は
敵空母を2隻沈めて
見事な最期だったそうよ

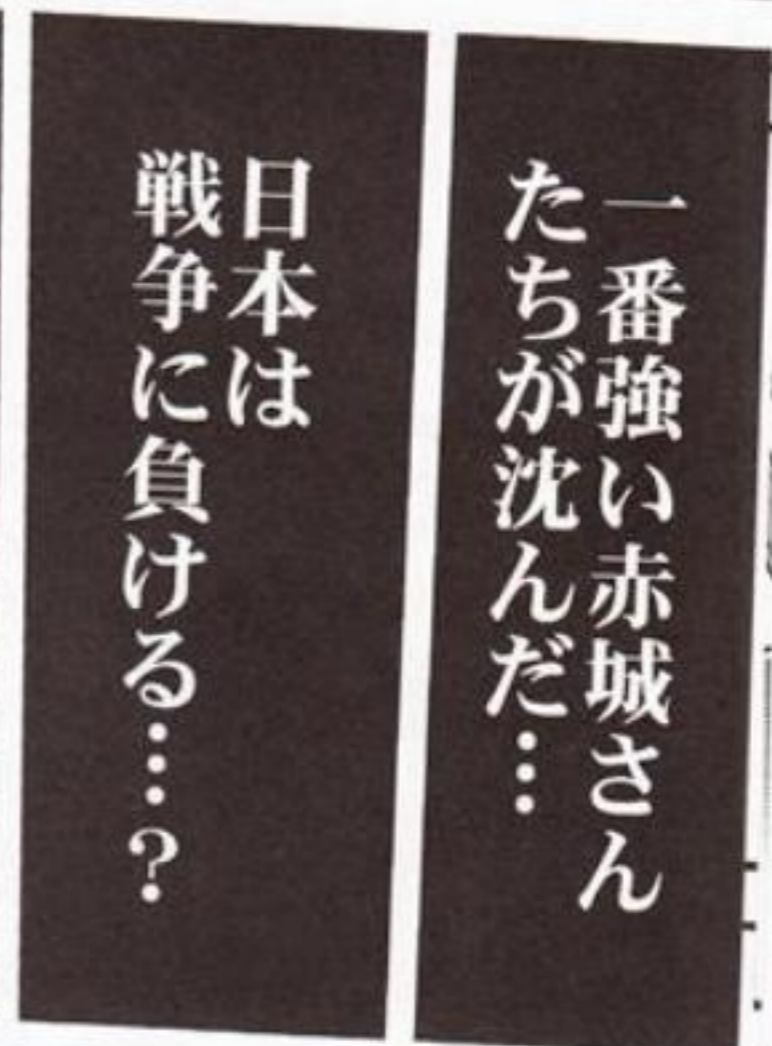


あ…

赤城さんは
空母は負けないと
仰ってました



どうして…
やられたの…
でしょうか





私もきつと
赤城さんの
ように

立派に死んで
みせます

さて戦局は一月前に戻ってしまった では改めてどうするか？



陸海軍
連合艦隊は
それぞれ
戦略に依り
て戦いを
始めた

海軍軍司令部は
米豪遮断を継続

海軍軍司令部
SN作戦

陸軍
レ号作戦

連合艦隊司令部
B作戦

陸軍は頓挫していた
ポートモレスビー
攻略を陸路で開始
その後は長期自給体勢
へ移行する戦略だった

大攻勢に失敗した
山本の海軍での
発言力は低下
していた

それでも次々と
勝利を重ねるしかない
という考えは揺るがず
連合艦隊は次の目標を
インド洋方面に定め
攻勢に先立ち
通商破壊作戦を
発動させた



7月5日
海軍は前線の制空権を
前進強化させようと
日米前線基地の
中間に位置し
ツラギ水上基地
トラック基地
より設営隊上陸
ガダルカナル島に
飛行場を作り始めた
連携できる
ツラギ基地とも

第18戦隊(護衛)

『生きて還れぬ』
ニューギニア東部の
戦いの始まりである。

220 km

ゴナ

ポートモレスビー

7月21日
陸路でのポートモレスビー攻略
先遣隊がゴナへ上陸を開始した

ラバウルには海軍の第8艦隊と共に
陸軍の第17軍司令部も新設され
ニューギニア・ソロモン方面を
担当した

ニューギニアから
さつき帰ったばかり
第8艦隊に配属だから
すぐ南方へ戻ることに
なりそうだけど

また無事に還れたのは
きつと吹雪ちゃんの
「御守り」のお陰だよ

いやいやいや
カンケーない
カンケーない

駄目だ…
やる気ゼロになった

タ立ちちゃん
久しぶり!
海兵団以来
だね

フーブキちゃーん
今回は一緒の任務で
頑張るっばい

7月31日
西ではインド洋作戦部隊が
マレー半島西岸のメルギー諸島に
集結した

メルギー諸島

第3水雷戦隊

第16戦隊

第7戦隊

第2駆逐隊
第15駆逐隊ほか

ベンガル湾

アンタマン
ニコバル諸島

商船の妨害!?!
ウチら水雷戦隊だぞ
敵艦隊との戦いじゃ
ないのかよ

これを担げる奴が
私以外にも居ると
聞いて驚いたぜ

アンタが
大和か

8月5日
佐世保海軍工廠

戦艦「武蔵」
就役

武蔵は
連合艦隊
旗艦となり
大和と組み司令部直率の
「第1戦隊」となった

ええ
私もです

8月17日
ガダルカナル島の飛行場建設を
発見していた米軍は

環礁
マキン
タラフ

8月から三段階に分けて
ニューブリテン島まで
奪回する予定だった
『ウォッチタワー作戦』に
ガ島周辺攻略も加え
突如侵攻してきた

ガダルカナル島

ニューブリテン島

ツラキ島

同時に
日本軍の戦力分散を狙い
マキン環礁のブタリタリ島へも
8月17日に奇襲上陸を行った

米軍の攻撃はすぐに
ツラギの守備隊から
ラバウルの第8艦隊へ
伝えられた

敵兵力大
最後の兵まで守る
武運長久を祈る

第8艦隊
ただちに反撃に出ます！
第6戦隊の青葉さん達と
海上で合流しそのまま
敵上陸地点へ突入します

待ってくれ
鳥海！

俺も行く！
一緒に連れて
行ってくれ

海上護衛隊の
私と夕凧もいきます！

時間がないので
ハッキリ言います

敵の数も分からない
中への殴り込みです

軽巡
ましてや老朽艦は
足手まといす

いや
絶対に付いて行く！！
戦争が始まってから
まだ何の役にも
立ってないんだ！

やられて足手まといに
なったら敵中に
置き去りでもいい！

ウンと
言ってくれる
までここは
通さねえ！

.....
こんなことで
言い争ってる
暇はありません

一四三〇に出撃です
すぐに用意を
してください

おう！

16時30分
第6戦隊と合流した
鳥海ら第8艦隊は

ラバウルから直線距離で
1000kmの
ガダルカナル島へ
と向かっていた



鳥海達の移動中に
第11航空艦隊はラバウルから
7日54機、8日38機を出撃させ
先制攻撃を行った

※坂井三郎もこの攻撃に参加していた

戦果は
(大破)駆逐艦1 輸送船1 だったが

航空隊の報告は
(沈没)巡洋艦2 駆逐艦1 輸送船9
(大破)巡洋艦2 輸送艦2
と過大なものだった



しかしこの航空攻撃で
米軍のフレッチャー少将は
日本空母が近くにいと誤解し

この方面の
日本軍雷撃機の
性能と技術は
極めて優秀につき
一時離脱する



船団を置いたまま
空母部隊を退避させ
てしまった



8月8日 夜

帝国海軍の伝統たる
夜戦において
必勝を期し
突入せんとす!

各艦
冷静沈着
よくその全力を
尽くすべし!



左舷に戦艦1
巡洋艦2 発見!

全軍突撃せよ!



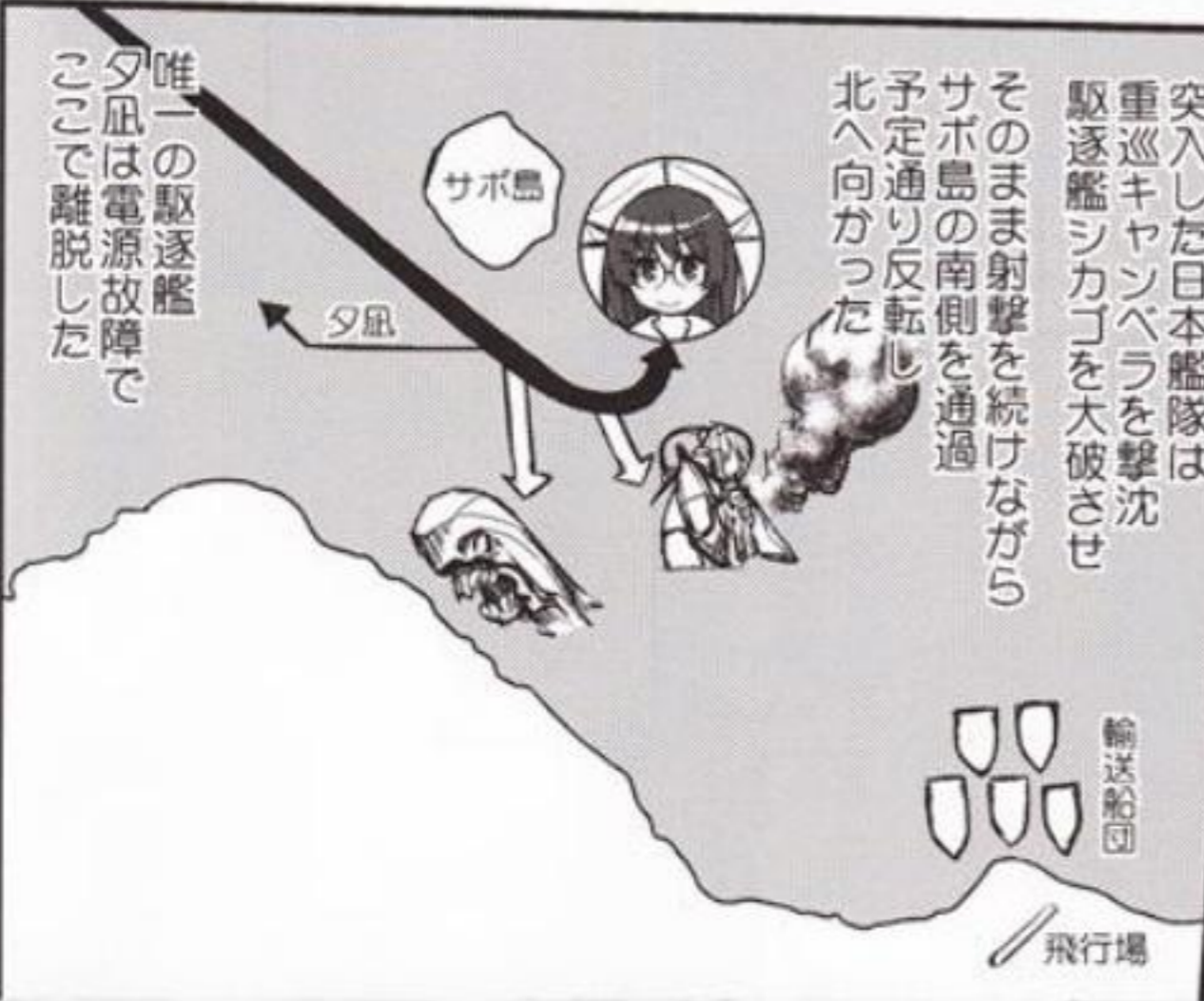
うおお!
探照灯は
任せろ!

撃ち方
はじめッ



突入した日本艦隊は
重巡キヤンペラを撃沈
駆逐艦シカゴを大破させ
そのまま射撃を続けながら
サボ島の南側を通過
予定通り反転し
北へ向かった

唯一の駆逐艦
夕風は電源故障で
ここで離脱した



三に
新たな敵艦発見
距離5000



古鷹が回避で進路を変更したため
隊列は2つに別れて
しまったが



これが運良く
北側の艦隊を挟み
撃ちする形になった
サボ島



激しい砲雷撃戦が行われ
重巡アストリア撃沈



不発!



まだまだ
ア!



撃ち合いで
日本が上りた
回
続いて
重巡クイシー撃沈
さらに
重巡ワインセンス撃沈



よし
全軍引け!
予定地点へ
集結せよ



天龍さん
左舷に敵発見!

こいつは
二人でやるぞ
夕張!



撤退中に天龍、夕張の攻撃で
駆逐艦ラルフ・タルボット大破



皆さん
良くやりました
が...まだ肝心の
輸送船団を叩いていません



今からもう一度突入して
攻撃すべきだと思えますが
意見を聞かせてください

今のは奇襲だったから
良かったけど
この後は敵の飛行機が
出てくるんじゃないか?



賛成...
こちらは護衛機がないし
再突入は危険だよ

分かりました
皆さんは帰投して下さい
私一人で突入します



だが第8艦隊司令部の
三川長官から命令が届いた

鳥海
ムチャをするな
全軍帰投せよ

(撃沈)重巡4
(大破)重巡1 駆2

敵艦隊の半分を壊滅させ
味方は軽微な損傷のみ
一方的大勝利だった

第一次ソロモン海戦



翌9日 8時
部隊は解散しそれぞれ
予定の泊地へ向かったが

ん：
魚かな？

キラッ



戦場を離れ
潜水艦回避の之字運動を
やめていた加古が
雷撃を受け沈没



完勝ムードに
水を差した

天龍ちゃん！



どうだ
龍田！

天龍型だって
まだやれるって
証明してやったぞ



もう

ホント
バカなんだから…



第8艦隊の戦果申告は
(撃沈)巡洋艦8 駆逐艦6
(撃破)巡洋艦1 駆逐艦2

だが大本営は航空隊の戦果と合わせ
(撃沈)巡13 駆9 潜3 輸10
(撃破)巡1 駆3 輸1
(撃墜)58機
損害21機のみと
恐るべき戦果を
発表した

航空隊の戦果は
報告の1割程度
だろう

これを聞いた第8艦隊は
以後航空隊の戦果報告を
信用しなくなった

後日
海戦功績明細書を
提出された山本は
予想に反し
激怒した

戦に勝ちながら
なぜ輸送船団を
叩かずに撤退した！

こんなものに
勲章をやれるか！



次に海軍は飛行場奪回のため陸軍へ部隊の派遣を要請した

そのガダルカナル島と
いうのはどこにあるんだ？

海軍からの資料はこの海図だけか

おそらく威力偵察だ
たいしたことはない

この任務にミッドウェー島上陸予定が中止になった精鋭一木支隊の一木清直大佐が名乗りを上げた

手柄も立てないまま内地に戻る所だったやらせて下さい



ソロモン諸島のガダルカナル島は海岸までジャングルに覆われた熱帯雨林の島で一部に草原があり一万人程度の原住民が分散して暮らしていた

昼なお暗い密林はフィリピンやマレーシアより生物に過酷な環境で虫のほか鳥や鼠、爬虫類などがいるだけだった

半径20kmの砲撃範囲
飛行場

食用になるような植物も少なくさらに人間の天敵『蚊』が繁殖していた



その中に日米双方合わせて数万の人間を送り込まれたのであった



大和
ソロモン方面で米軍が反撃に出た
私も前線で戦いの指揮を執る

行くぞ
トラックへ

はい



8月17日

山本は事態の推移を受けインド洋作戦を中止

主力艦隊と共に連合艦隊司令部をトラック島へと進出させた

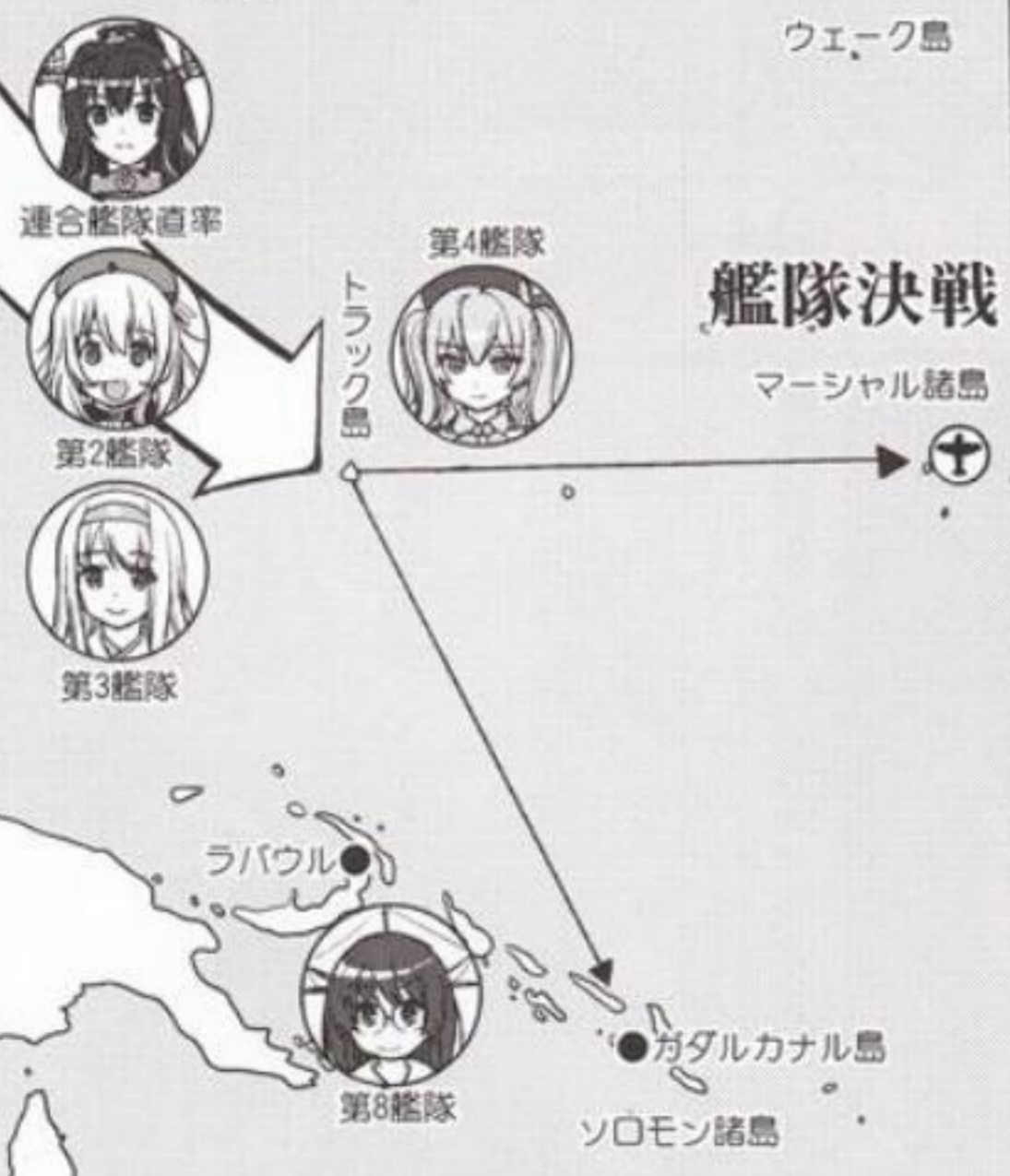
ソロモン方面に対処し

来たる米海軍との艦隊決戦をマーシャル諸島の制空権下で迎え撃つためであった

ウェーク島

艦隊決戦

マーシャル諸島





完全復活ッ！

翔鶴



その前に皆に渡すものが



私たち第三艦隊もトラックへ出発よ

おーい空母は集まって



飛鷹には蒼龍さんの矢



隼鷹には加賀さんと飛龍さんの矢



翔鶴姉エこれは赤城さんの矢



試しに撃ってみれば？

隼鷹



ええなあ

へー



イケるぜ
大将……

い……



スゴ……
さすが加賀さんの
航空隊やわー



どーよ
隼鷹
手応えは？



南洋方面が
急に現れたら
睦月ちゃん驚くかな……

川内さんが
急に生き生き
しましたね

よしッ！
インド洋の『B作戦』は中止
第3水雷戦隊もトラックへ
行くぞ



ぐぬぬ……

へへ
おっちゃん
先に行ってるわ
よう訓練しとき

ただし
一刻も早く慣れるために
『隼鷹』『飛鷹』『瑞鳳』は
残って訓練を続けなさい
一航戦には
瑞鳳の代わりに
ベテランの龍驤に
入ってもらおうわ

ガダルカナルへの地上部隊の増援が始まった

米艦隊は夜戦を恐れて夜は退避していたのでその間に駆逐艦で素早く運んだ部隊の上陸は順調に進んだ



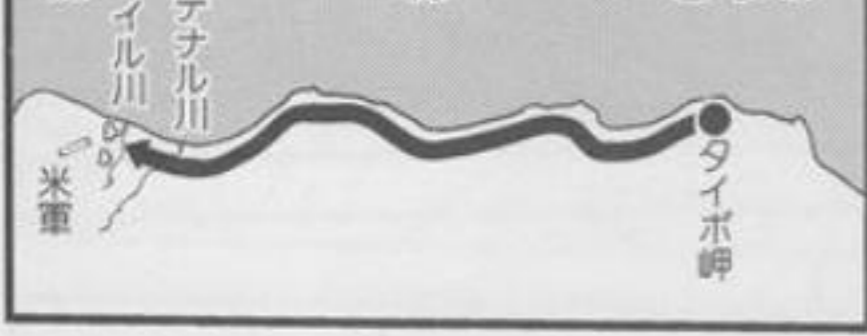
だが速度の遅い輸送船に乗った第二梯団は明るくなつてから敵機の襲撃に会い引き返した

護衛駆逐艦の内『陽炎』は現地に残り偵察や砲撃を続けた

士気の高い一木支隊の先遣隊は後続を待たず海岸沿いに飛行場へと向かった

米軍陣地を裏側から突いたつもりだったがこれらの動きは事前に知られ

8月20日には飛行場の2手前で川沿いに作られた防衛戦に突き当たった



8月20日 完成した飛行場に米軍機が降り立った

米空母部隊も再び周辺に進出してきたため制空権は一気に米軍有利となった



21日未明 一木支隊は構わず伝統的戦法白兵突撃による夜襲を開始

一部の陣地を奪つたり海沿いから回り込もうとしたものの

障害物で足止めして照明弾を打ち上げ猛射するという米軍の戦法の前に撃退された

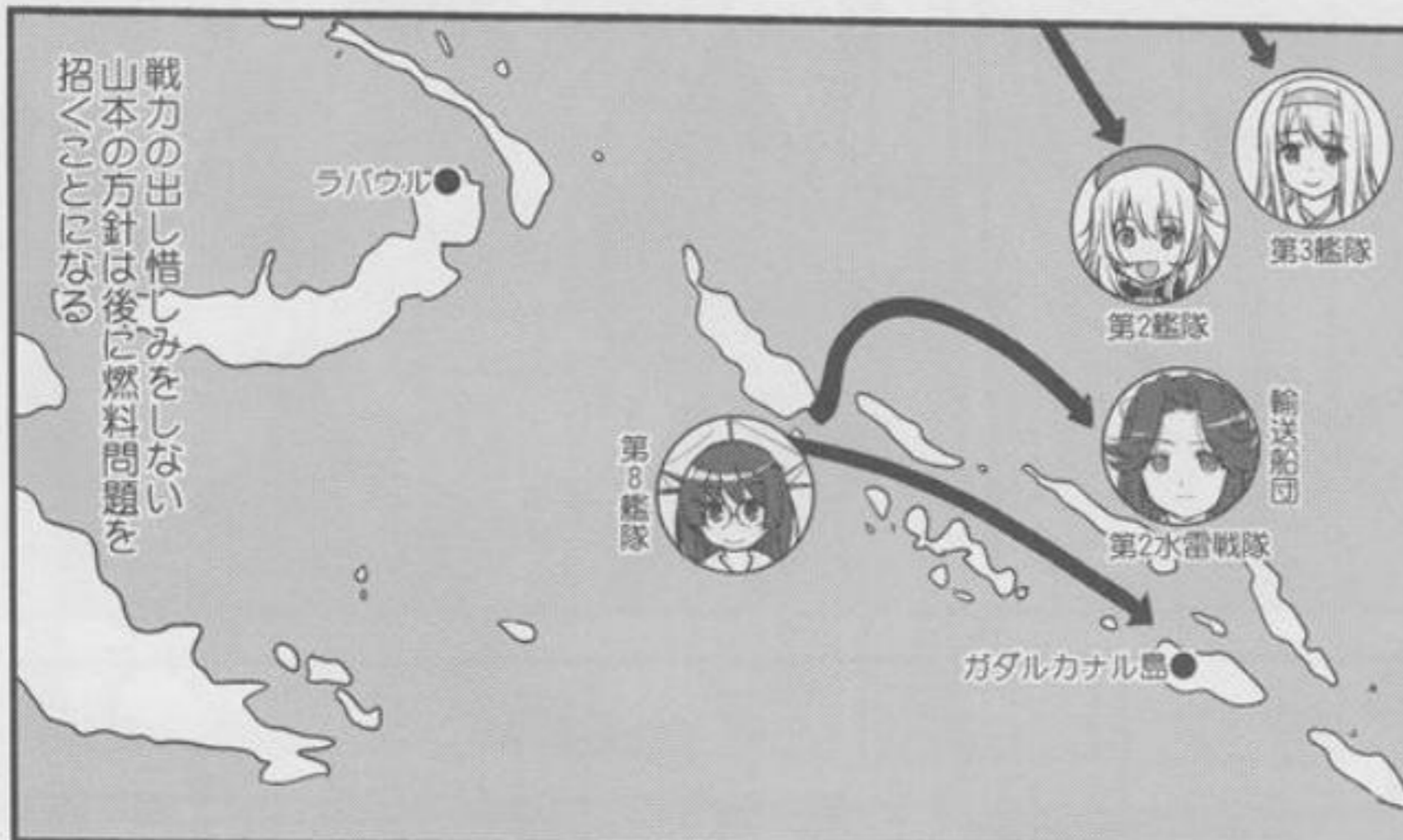
行き詰まって包囲されたところを戦車に蹂躞され部隊のほとんどが死亡した

これは太平洋戦争で陸軍初の敗北であった



8月22日

いっぽう山本は24日に予定された一木支隊第二梯団の再上陸の前に周辺の敵艦隊を一気に撃滅しようとしてさっそくトラックから大部隊を出撃させた



戦力の出し惜しみをしない山本の方針は後に燃料問題を招くことになる

エンタープライズ サトガ (別動) フスブ

同日 陽炎と交代した『江風』はルンガ沖へ単艦突入し米駆逐艦3隻と交戦

雷撃で『ブルー』を撃沈した



ラバウルに着任した第11航空艦隊も毎日ガ島攻撃隊を出撃させていたが

機数が少ない上天候の影響もあり23日になつても成果は上がらず

宇垣纏参謀長をイラつかせた

上陸が24日に迫つてののに航空隊は何をやっているんだ!

輸送船団が突入する前に何としても飛行場を叩く必要を感じた連合艦隊司令部は

第3艦隊に空母一隻を分遣隊として攻撃に向かわせるよう命じた



日本機が来ると空中退避

利根さん
天津風、時津風
護衛お願いします

なんや
空母は3隻で
行動するんや
なかったんか？

8月24日
夜明けと共に
双方索敵機が出撃

米軍が先に
第3艦隊、第2艦隊
龍驤の分遣隊を発見し
最も規模が小さく
接近中の分遣隊をまず
攻撃することにした

午前10時 龍驤は
零戦15機、攻6で
飛行場を攻撃した

はいやー！

12時05分
日本の偵察機も米空母を発見
翔鶴、瑞鶴は零戦10機、爆27の
第一次攻撃隊を出撃させた。

午前は出撃を控えていた
サラトガ、エンタープライズも
同じ頃攻撃部隊を発進させた

14時

敵機来襲！

だから
言わんこつちや
ないんや!!

サラトガの艦攻は艦爆
30機に攻撃を受け

龍驤は
爆弾数発と魚雷一本が命中
航行不能となり
6時間後に沈没した

14時28分
今度は翔鶴、瑞鶴の第一次攻撃隊が
エンタープライズを集中攻撃

激しい対空防御網に
撃墜が相次ぎ
零戦3機、爆17を
失うも

爆弾3発命中
2発至近弾で
中破の損傷を与えた

第二次攻撃隊は
敵を発見できず引き返した

敵空母全てに
損傷を与えたと
判断した翔鶴は
護衛部隊に
突入を命じた

比叡さん
重巡連を連れて
突入して下さい

しかし上手く
伝わらなかった

第2艦隊も日没と共に
夜戦を挑むべく
他の艦隊と連携しよう
としたが

利根さん鳥海さん
聞こえますか？

これも通信障害などで
上手くいかなかった

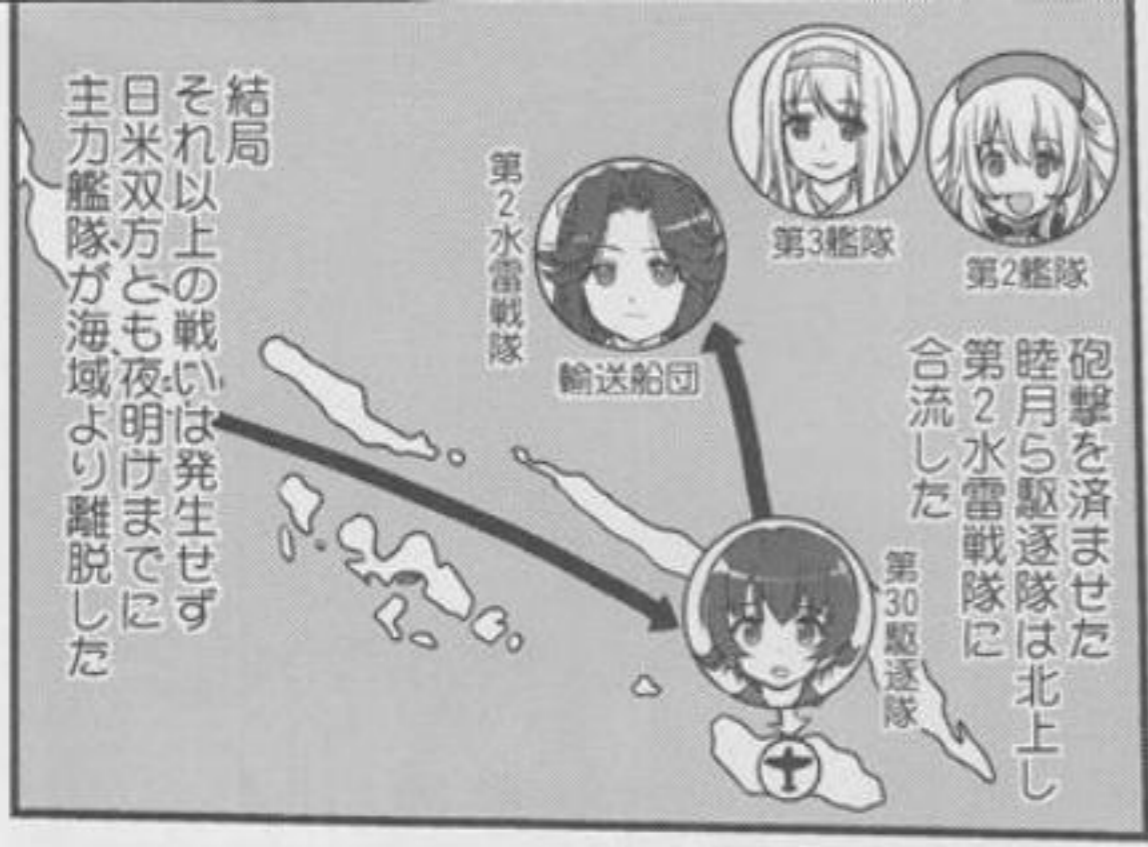
この頃
第2艦隊と共に
出撃していた「陸奥」は
水雷戦隊に着いて行けず

第2駆逐隊を
率いて脱落し
足を引っ張った

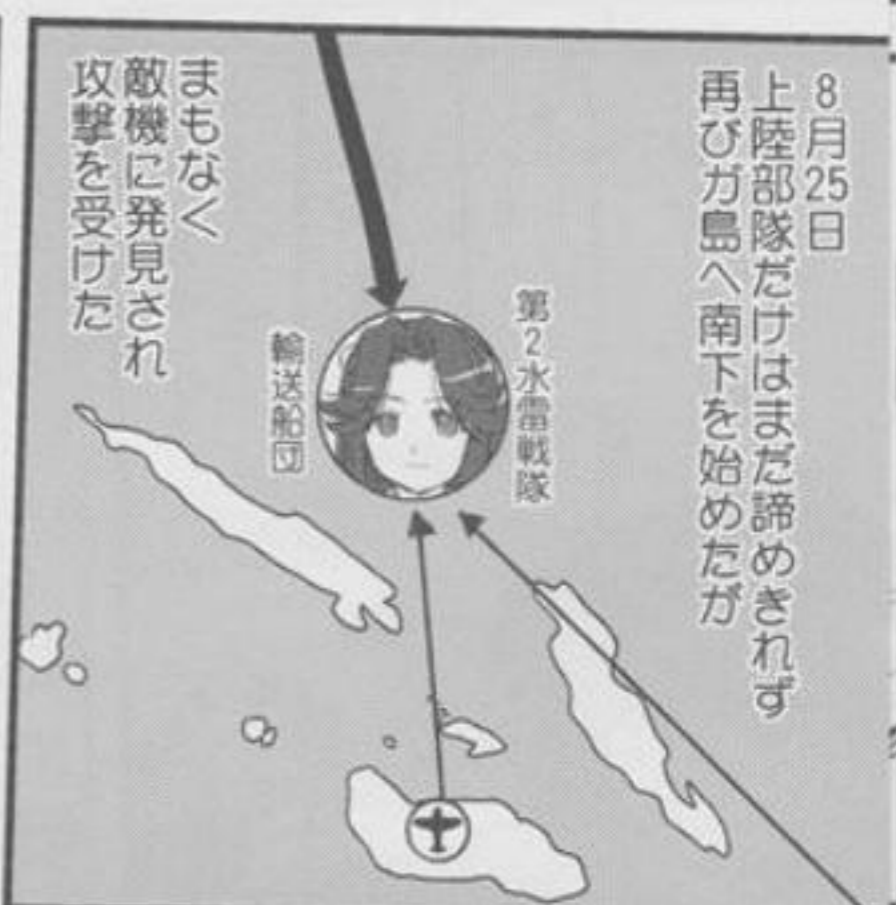


夜になり第8艦隊では
第30駆逐隊5隻に
ルンガ湾へ突入を命じ
飛行場を砲撃させた

しかし自視も
着弾観測もないまま
だいたいの方向へ
10分程度撃つただけであった



結局
それ以上の戦いは発生せず
日米双方とも夜明けまでに
主力艦隊が海域より離脱した



まもなく
敵機に見えられ
攻撃を受けた



吹雪
ちやんの

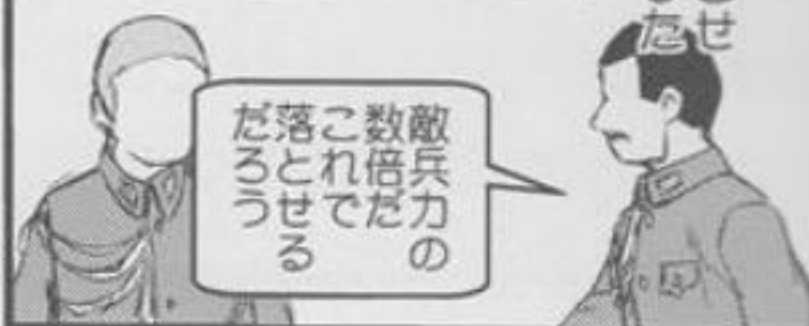


この頃ようやく一木支隊第一梯団の全滅を知った17軍は

第二梯団だけでなく手持ちの全兵力を上陸させ総攻撃をかける決定をした

一木支隊第二梯団
川口支隊
青葉支隊(第2師団)
計6000名

この中でも伝統ある第2師団は東北が誇る精鋭だった



敵兵力の
数倍だ
これで
落とせ
るだろう

ニューギニアでは海軍がラビに建設中の敵飛行場を発見した

8月26日

陸軍に援軍を拒否された第8艦隊は陸戦隊のみで上陸し攻撃したしかし予想の数倍の米豪華軍に撃退され9月6日まで撤退した



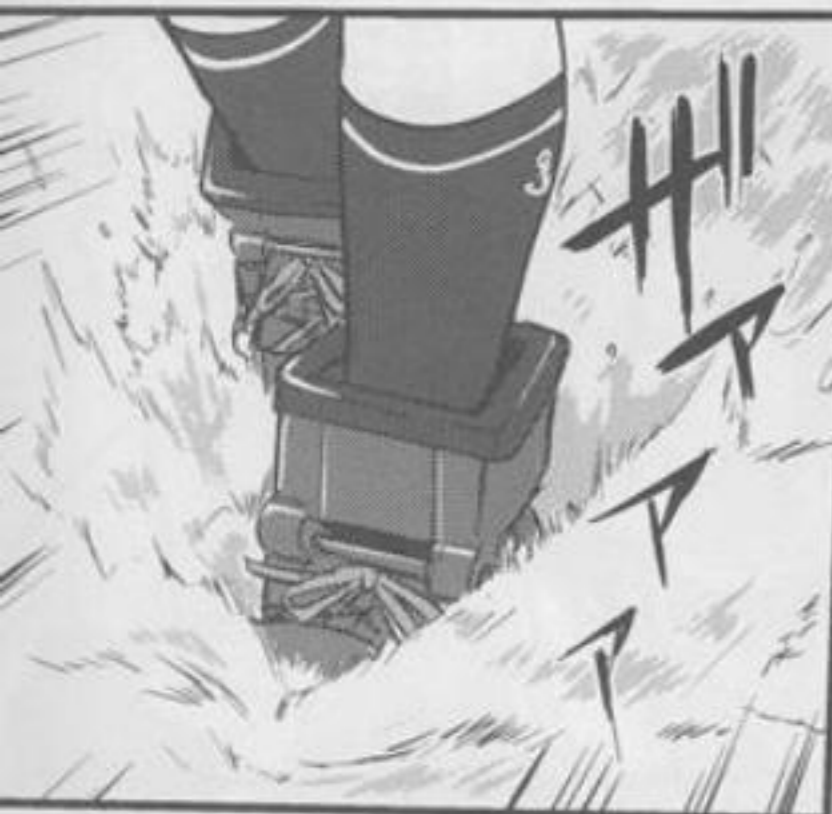
9月10日には撤退部隊の搜索中に駆逐艦『弥生』が爆撃を受け沈没した



8月25日
第3水雷戦隊が
ラバウルへ到着

そうですね
睦月ちゃんまで...

遺品の中で
預かる物とかあったら
取っておいて下さい



これが...

ガダルカナル島



第3水雷戦隊はさつそく輸送に従事

8月28日の昼間輸送失敗(『朝霧』沈没)などを踏まえ敵のいない夜間を利用した駆逐艦による兵員輸送は再び順調に進んだ



9/7 アリ輸送
川口支隊(一部)
駆逐艦で運べない
重火器や物資の
舟艇輸送は昼の敵機
の攻撃で被害を受けた

8/29 9/7
ネズミ輸送

8月31日
哨戒中の潜水艦『伊26』が
空母サラトガに魚雷を命中させ
修理で3か月退場の金星を上げた

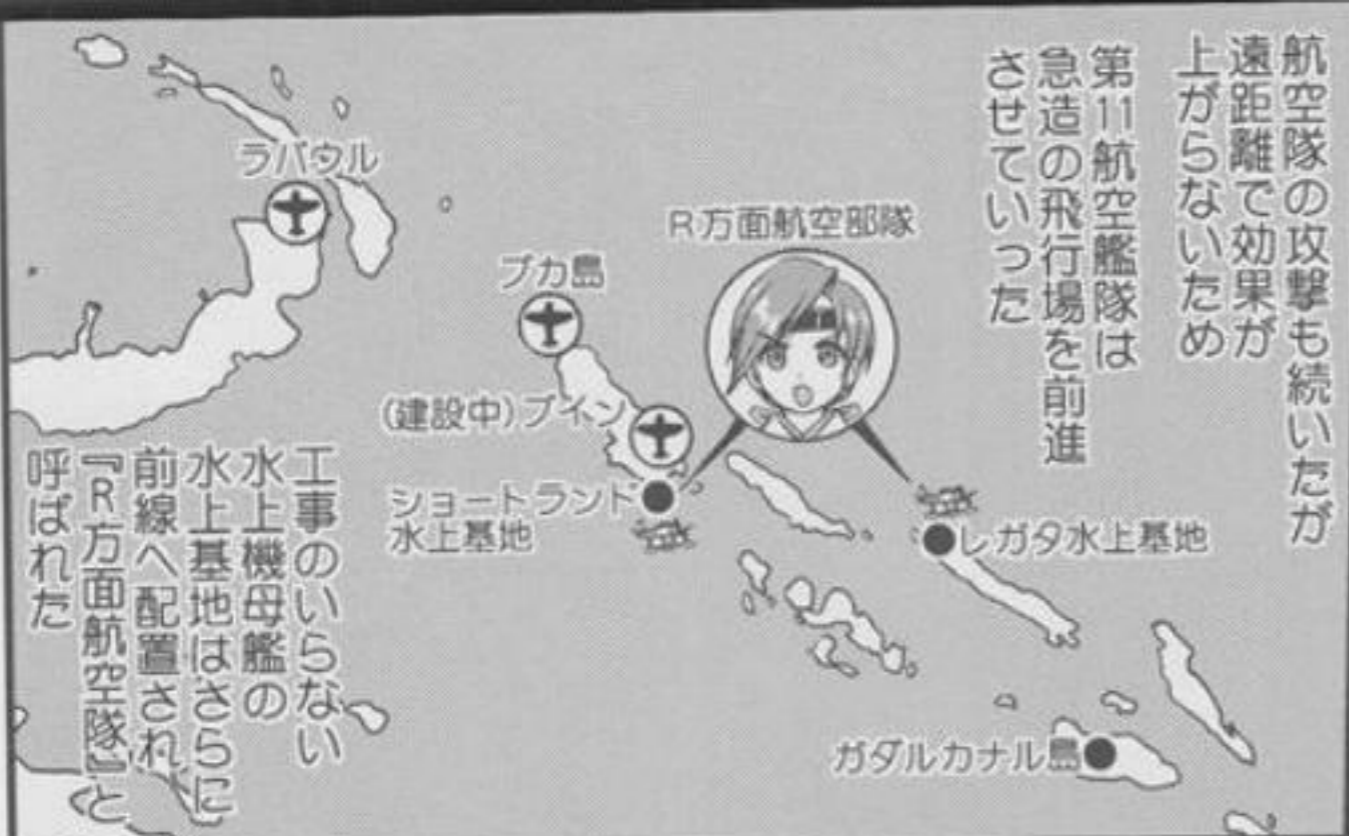


駆逐隊は輸送のついでに飛行場砲撃や敵艦の攻撃も行っていった

9月4日には『夕立』『初雪』『叢雲』が砲撃後に敵駆逐艦と交戦し、『アレキサンダー』『ワイドル』2隻撃沈の戦果を上げた



航空隊の攻撃も続いたが遠距離で効果が上がらないため第11航空艦隊は急造の飛行場を前進させていった



工場のいらない水上機母艦の水上基地はさらに前線へ配置され『R方面航空隊』と呼ばれた

あーもう！

せっかく最前線に来たのにコソコソ輸送する任務ばかり！

水雷戦隊は輸送部隊じゃないぞ！



こんな事してるうちに飛行機に沈められたら死んでも死に切れない



如月ちゃんも睦月ちゃんも死んじゃった

なのに私だけまだ生きてる

私はどんな死に方をするんだろ

どうせ死ぬなら激戦の中でアメリカの空母でも道連れにすれば…

吹雪よく立派に死んでくれたねご近所様にも恥ずかしい思いせずすみよ

スゲー吹雪の奴こんな敵に倒して見なおしたべ

吹雪君は郷土の誇りだ



でも

その日は明かされぬ





あの…ホントに
心が落ち着いて
気持ちよく
なれるんですか？



もちろん！

おいで
叢雲



あはは
胸も下の毛も
まだまだだね

いきなり
なんて事
言うんですか



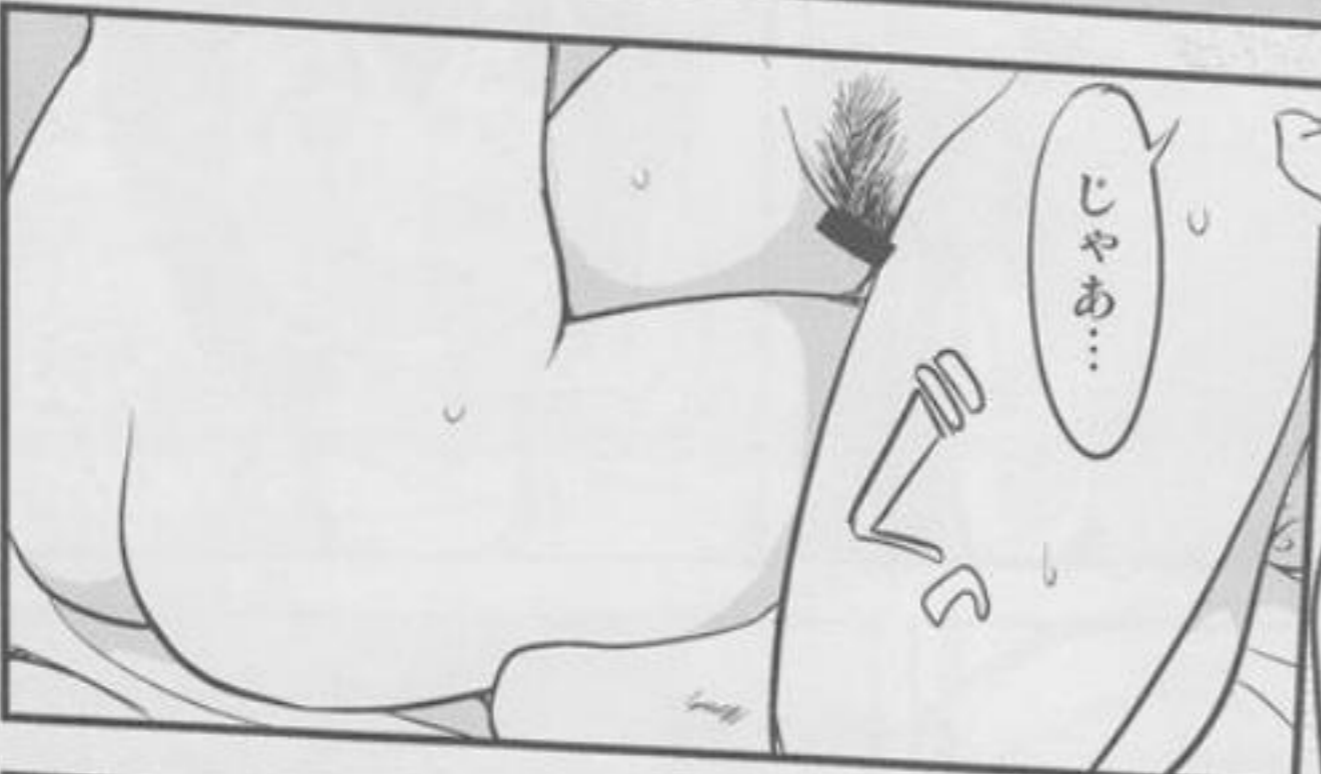
でも肌綺麗で
可愛い！

妹も欲しかっ
たんだ！

ち違いますから



じゃあ…



こうして
からみ合って
抱き合うの…

お互いの
鼓動を
感じて…





好きなただけ
顔も体も
押し付けて
いいから

グイグイ



……
落ち着かない？

ま……
まあ



小さい方で
まず叢雲に
やってあげるから

覚えて
次は私にしてね

こへへ……



身体が
ほぐれたら
次は気持ちいいこと
しようか



しゅわ
しゅわ



吹雪さんって
助平な人だったん
ですね

違うよオ
私も海軍に入ってから
仕込まれたんだよ

どうする？
最初は少し
痛いかもしれ
ないけど
やめとく？

いえ
次の出撃でやられる
かもしれませ
んし
吹雪さん相手なら
経験してみます



このリズムを
続けるから
イケそうなら
イってね

そう
自分で
抱えてて

ぶる ぶる

ま
ま
ま

ま
ま
ま

び
る
び
る



ちよつと
荒っぽくても
平気だから...

ん...いいよ
そう
グツと押し込んで

こんなの
入るの...

ま
ま
ま

び
る



9月12日 総攻撃予定日



トラマク島からは
大艦隊が再び出撃し
島の北方で
飛行場占領の
連絡を待っていた...

その間
第3水雷戦隊は
ルンガ泊地に突入し
支援砲撃を行った

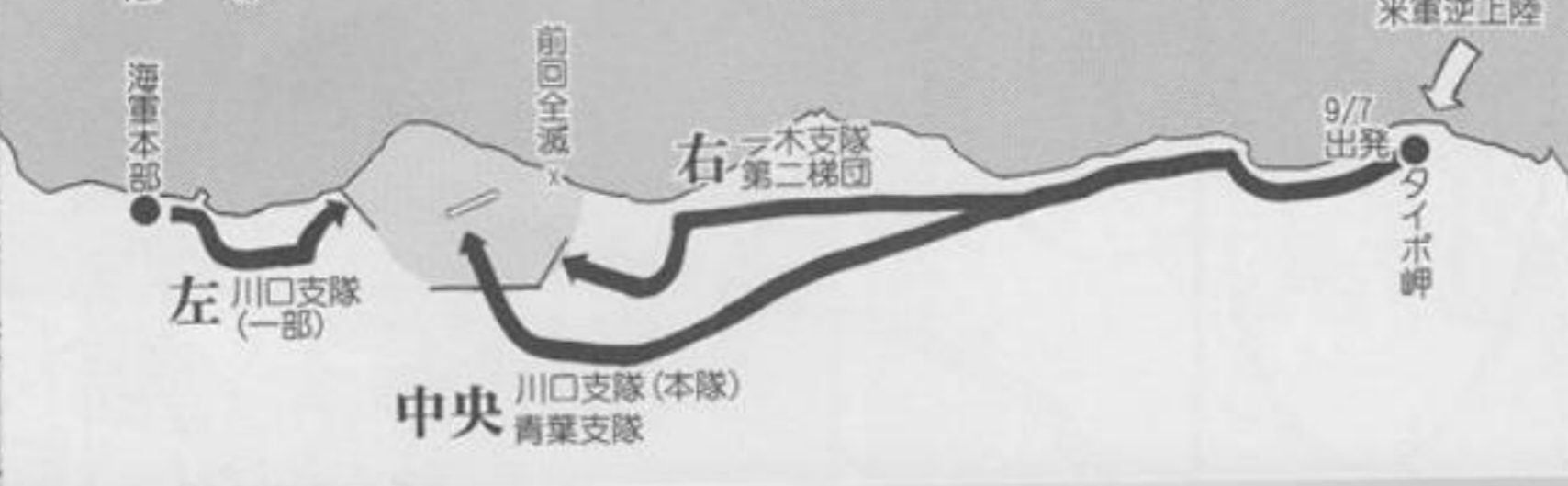
9月12日夜
三方向から
日本軍の総攻撃が
始まった

前回の失敗を避けるため
攻撃はジャングルの中を
背後へ回りこぶルートを取っていた

ところが
密林行軍の困難さは
司令部の想像を絶し
予定時間に配置に
付けない部隊が続出した

結局
12日から13日にかけて
各隊がバラバラに
突入する形となった

しかもこれらの攻撃は
密林に仕掛けたマイクで
事前に察知され
待ち受けた米軍の猛射に
各所で撃退された



それでも中央の青葉支隊は米軍の防衛線を突破して飛行場の端まで到達し2日間抵抗を続けた

自動小銃がほしいば
自動小銃さえあれば

9月14日
川口少将は総攻撃は失敗と判断し全部隊の西への撤退を命じた

その後の追撃を何とか撃退した日本軍はジャングル内に広く布陣し川を挟んで米軍と対峙した

ここから前線の食糧事情が一気に悪化することとなった



9月16日
ニューギニアでは南海支隊もポートモレスビーを目の前に補給が続かず行き詰まり撤退を開始した

この時点で大本営陸軍部は米軍の反攻が一時的なものではないと判断し17軍へ更なる増援を決定した



9月15日
暗いニュースが続く
連合艦隊司令部に朗報が入った

『伊19』がソロモン諸島南部で

空母『ワスプ』撃沈

駆逐艦『オブライエン』大破後沈没
戦艦『ブリスカロライナ』大破
という大金星を上げたのだ

ガダルカナル島



やった！
なの

これは戦争を通じて日本の潜水艦が単独で上げた最大の戦果だった

トラック島

姉さん
ここでしたか探しましたよ

ハルルッ
何の用テスか
どーせ私は忘れられた役立たずの船なのテッス

金剛型戦艦は
比叡と霧島さえいれば
十分なのテッス

腐れ亜米利加が
戦艦同士で戦おうと
しないのテッス

あの提督が
お呼びですよ

ふへ

テートクが？

陸軍はガ島の次の総攻撃で大兵力と重火器・戦車を投入し一気に勝負をつけるつもりだ

兵員は駆逐艦で少しづつ送っているが重火器弾薬等は高速輸送船で船団を組み一回で輸送する我々は全力でそれを援護する

問題は飛行場の敵機だ

陸軍も新たな部隊で野砲が届く位置の確保に努めているが苦戦している

第2師団

第4連隊

10/9玉砕

渡河失敗

米軍

マタニカフ川

そこでお前達だ
本来は海上で敵艦艦に向けるべき
その巨大な主砲

今回は
陸軍のために
使ってやってくれないか

姉さん!

テートク...

で

その飛行場と
やらは

わ

どこにあるの
デスかー

陸軍の第二次総攻撃に合わせ次こそ敵の撃滅を目指すための訓練中の2航戦たちもトラックへ呼ばれた

へへ
やっ
と前線
だな

10月9日
17軍司令部は第二次総攻撃を現場で指揮するためガ島に上陸した
今度は大本営も直接参謀を派遣した
その参謀らはガ島へ行く前に山本に挨拶するためトラックに寄った

そこで連合艦隊司令部の軍楽隊の演奏付きの豪華な食事に同席した

前線では蛇やトカゲを食べているというのにこんな有様では
陸軍の気持ちがお分かりにならないのも無理はない

10月に入りガ島へのネブスミ輸送はベースが上がりついていた

10月11日には水上機母艦での重火器の輸送と戦艦の前に重巡による飛行場の砲撃テストが予定された



今までの支援砲撃と違い上陸軍が示す目印で海上から正確な位置を測定し砲弾の信管も地上攻撃用に変え明確に飛行場の破壊を狙う砲撃だった

第11駆逐隊は『白雪』『叢雲』が水上機母艦輸送『吹雪』『初雪』が飛行場砲撃の護衛に付くようになった

はっ

はっ

はっ

前任駆逐艦殿：
最近島に近づくと
すぐ飛行機が来て
怖いです

明るいうち
だけだよ
夜になると
敵はどっか
行っちゃうから

白雪も
落ちたか

次は私も
誘ってもらおうかな

今回も
きつと大丈夫

私達は
今日まで
誰も欠け
ずに

サボ島が
見えてきた
全艦速度上げ！

やつて
来れたん
だから

左舷に
艦影確認

先に出た
輸送部隊の日進隊か？
信号を送る

ワレ青葉
ワレ青葉

ワレ青葉
ワレ青葉

ワレ青葉
ワレ青葉



SGレーダーは10センチ波長とPPIという平面位置表示器を備えた最新のレーダーだった



SGレーダー

この夜米艦隊は巡洋艦「ヘレナ」「ボイス」に水上探着用SGレーダーを装備し初めて夜間の迎撃に現れた



PPI

これ以後米艦艇の標準装備となったが日本は最後まで同レベルの物を作れず夜戦の優位性を失った



味方だ撃つなワレ青葉!

敵か!?

何してるの敵よ!



お:面
右:頭
回頭!

ハイ!



あ...

シューカカカ

…ダメ
助からない

私ここで
死ぬんだ



せめて

艦娘として
恥ずかしくない…。

て
てんのか
へい

バンザ…



吹雪さん!!



野郎!

『古鷹』は青葉を庇うように敵との間に入り奮戦するも90発以上の命中弾を受け沈没



初雪取舵!

右はマズイ
左へ回る
わよ!

はい!



『衣笠』と『初雪』は古鷹らを攻撃している敵に左から反撃を行った

衣笠の活躍は目覚ましく軽巡『ホイシ』を大破重巡『ソルトレイクシティ』を小破

さらに混乱した味方の誤射で駆逐艦『サンカ』沈没駆逐艦『アラレンホルト』大破の被害を生じさせた



なんとか一方的な損害を防いだもののSGレイドの前夜戦で初の敗北となった

飛行場砲撃は中止ね

戻りましょう



数時間後要請を受けた輸送部隊の駆逐艦が現場の救出活動中に空襲を受け

『夏雲』が沈没『叢雲』が大破した



空襲後に叢雲は『白雪』によって雷撃処分された



サボ島沖海戦

勝利ー
吹雪しらねえかー

吹雪？

何言ってるんだ
おっ母
吹雪がいる訳ねーべ

いんや
昨日夜中に
奉公が終わったって
急に帰ってきたんだ

ずぶ濡れてな
早く家入って
体拭いて寝ろって
言ったんだとも

ホレ
お前がいるその辺りに
立ってたんだべ

うひや

オイオイおっ母
脅かすなよ
心配し過ぎっから
そんな夢見るんだべ

はー
そうか夢か

朝は豆腐の味噌汁を
作ってやるって言ったなら
笑ってたのにな



榛名！

弾という弾は、全部叩き込んでやるのデース！！

はい姉さん！

徹底的にやりましょう！！

10月13日
『金剛』『榛名』の挺身隊は前回の海戦で米艦隊が退避している中へ突入した

一時間に渡り966発の砲撃を行い滑走路を使用不能にすると共に基地の飛行機の半数以上54機と燃料タンクや弾薬庫も破壊し

遂に悲願の飛行場破壊を果たした

米軍も重砲による反撃を行ったがその弾は金剛達まで届かなかった

流れ出した燃料は引火し弾薬は次々に誘爆しまるで島全体が火の海と化したかのようだったという

この光景を目にした米軍は『野砲中隊に匹敵する』と興奮し士気が上がった

米軍はこの時から夜間哨戒に小型の魚雷艇を投入していたが

雑魚は向こう行ってなさい

護衛駆逐艦に阻まれ近づけなかった

翌10月14日
作戦目的である高速輸送船団が上陸地点へ投锚し重火器や物資兵員の陸揚げを始めた

この日は『鳥海』『衣笠』が1時間の飛行場の砲撃を行い援護した

だが米軍はこの1ヶ月の間にブルドーザーで戦闘機用の短い滑走路を東側に作っていて

残った飛行機と燃料弾薬を掻き集め後方基地のB17も加えて必死の陸揚げ妨害を行ってきた

日本の航空隊も遠距離から連日出撃し援護したが

荷揚げを完了したのは1隻で3隻は攻撃中も作業を続け機座2隻は完了せず撤退した

ようやく海岸へ揚陸した物資も内陸へ運ぶ前に執拗な爆撃で焼失し結局計画の2割程しか届かなかった

海軍は15日も『摩耶』『妙高』の砲撃で輸送船の撤退を援護したが陸軍の撤退命令に怒り協力関係にしこりを残したその後は再びネズミ輸送に変わり兵員の輸送だけは完了した



だが連日続く攻撃でアメリカ側もこの時期追い詰められていた

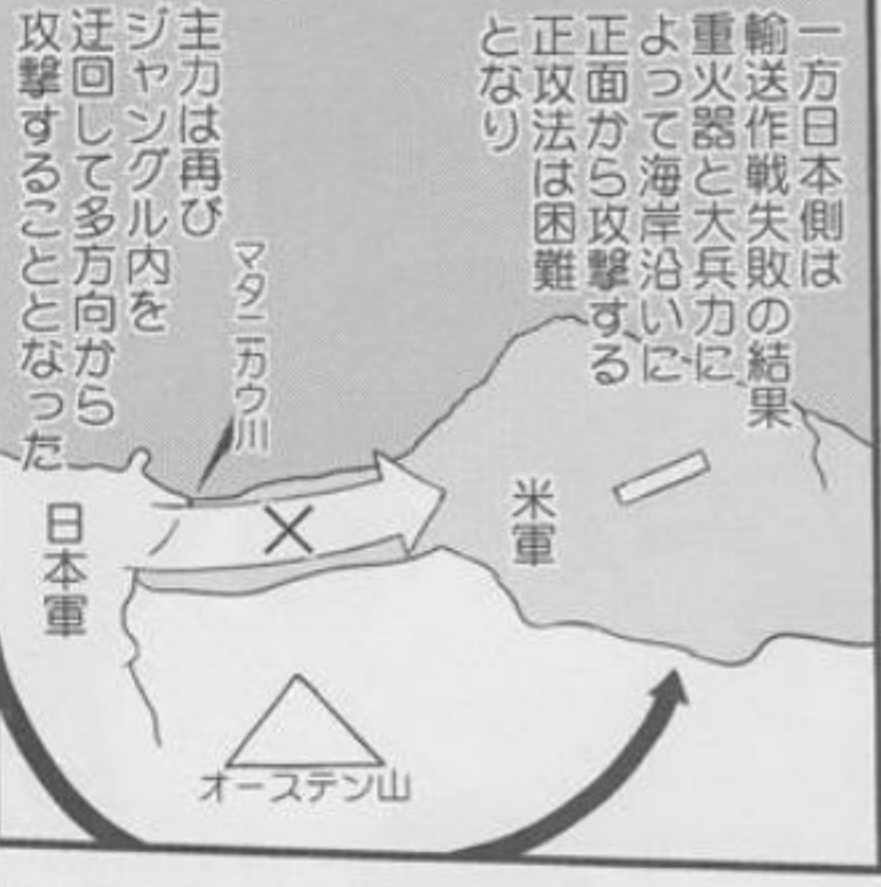
ゴームレー 南太平洋地区司令官

現在のような日本軍の圧力が今後も続くならガダルカナル島をもちこたえられないか



太平洋艦隊司令官ニミッツは弱気になったゴームレーを更迭し、猛将『ブルドック』ウェイン・ハルゼーを後任に据えた

ハルゼーは太平洋艦隊の上陸司令官『狂人』ホーランド・スミスにガ島確保の決意を確認すると、すぐさま機動部隊を率いて日本空母に決戦を挑んできた



一方日本側は輸送作戦失敗の結果、重火器と大兵力によって海岸沿いに正面から攻撃する正攻法は困難となり

マタニカウ川

オーステン山

空襲を避けるため伐採を行わず密林を一系列で進む部隊の移動は困難を極め



第2艦隊

第3艦隊

燃料空費

予定日の20日から一日一日と遅れていった



第8艦隊 待機

総攻撃に合わせてトラックを出撃した連合艦隊は延期のたびに南下と北上を繰り返して立ち止まりを強めた

ガダルカナル島



隼鷹これを

まかせとけ 飛鷹の分まで 暴れてやるよ

この間第2艦隊と共に行動していた2航戦の『飛鷹』が火災事故を起こしトラックへ引き返した

第8艦隊は先走ってガ島へ支援砲撃に突入してしまい空襲で『由良』沈没 『秋月』中破の損害を出した

陸軍はいつになったら攻撃を始めるんだ!

燃料が足りなくなる!



10月20日に予定通り攻撃位置についた海岸側の重火器部隊では先に戦闘が始まってしまい総攻撃の前に貴重な戦車や弾薬が失われてしまった

さらに度重なる延期で予定日の分しか無い密林内の兵士の携帯糧秣も尽きようとしていた



10月24日 もはや二日の猶予もならず総攻撃は強行されることとなった

強化された敵陣を見た川口少将は更なる延期を要請して辻参謀に更迭された

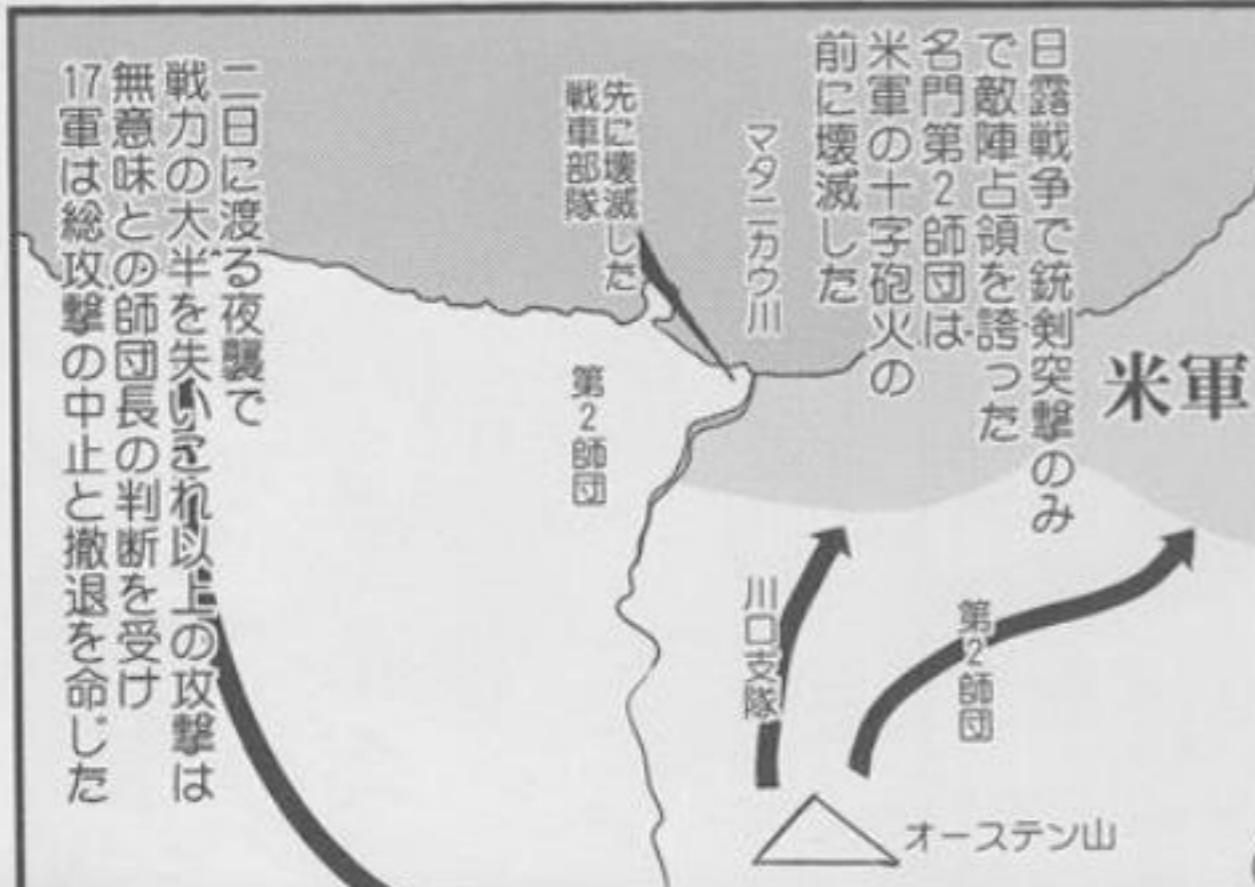
『本夜は確實ゆえ次回無電にて万歳を送る』 辻は現実と懸け離れた報告を大本営へ送った

10月24日夜 成算はないままに

『天佑神助に依りて突撃して聖旨に応うべし』

運を天に任せ敵陣突入が始まった

だが火力と防御力を増した米軍陣地に次々と撃退され前回のよう飛行場へ取り付くことも出来なかった



米軍

第2師団

川口支隊

左翼隊

右翼隊

川口支隊

飛行場攻略

オーステン山

先に壊滅した戦車部隊

第2師団

マタニカウ川

二日に渡る夜襲で戦力の大半を失いそれ以上の攻撃は無意味との師団長の判断を受け17軍は総攻撃の中止と撤退を命じた

10月26日朝
陸軍に撤退命令が出た
ちよつとその頃

海ではサンタクルーズ沖で
ハルゼーの空母機動部隊と
第3艦隊の対決が始まって
いた



日の出と共に偵察機を出した
第3艦隊とハルゼー艦隊は
5時頃互いに空母部隊を
発見した

5時25分
双方第1次攻撃隊が発進
日本は『翔鶴』『瑞鶴』から62機
米は『ホーネット』から29機

30分後
『エンタープライズ』から
2次攻撃隊19機が飛び立った



『瑞鶴』は護衛機10機を発進させたが
その直後米の哨戒機2機が放った
爆弾が甲板に命中

畜生ッ
偵察機の爆弾に
やられるなんて

発着艦が出来なくなつたため
早々に戦場を離脱した



6時15分
ホーネットは3次攻撃隊
25機を発進させた

同時刻

瑞鶴
第2次攻撃隊
発進させるわよ
準備はいい？

翔鶴姉エ待って
魚雷の準備にあと少し



赤城さんは
ミッドウエーで
ここで待って
しまった

翔鶴は瑞鶴の艦攻隊を
待つことなく艦爆隊のみの
2次攻撃隊24機を発進させた



6時40分
翔鶴の21号レーダーは
150km遠方に米の1次
攻撃隊を捕らえた

瑞鶴
急ぎなさい

5分後
瑞鶴は艦攻隊20機を
発進させた



7時10分
日本の第1次攻撃隊62機が
ホーネットに襲いかかった

強化された米の
対空防御システムの前に
24機が撃墜されるも
爆弾5発、魚雷2本が命中

さらに至近弾2発
体当たり2機の猛攻で
ホーネットは火災と機関停止を起し
戦闘力を失った



空母同士の戦いが
始まりました

瑞鳳さんが抜けて
しまったようです
こっちはいいから
2 航戦は第3艦隊と
連携をとって下さい

はいな!



7時14分
隼鷹から1次攻撃隊
29機が発進した

行っけえええ



その頃源田実の艦隊配置は
ズバリ当たっていた

7時
米1次攻撃隊の艦隊

7時20分
米2次攻撃隊
3次攻撃隊

全てが前衛の
護衛艦隊の方を
攻撃した

来たぞー

慌てるな!
こっちに来たって
ことは...



作戦成功って
ことじゃ!

あとは皆頑張って
避けるのじゃ
幸運を祈る!



米機の攻撃が集中した『筑摩』は
爆弾3至近弾1を受け
中破した



残る米1次攻撃隊の艦隊15機は
目的の日本空母を発見

7時27分
直掩機をかいくぐった
11機が翔鶴に攻撃を集中
爆弾4発を命中させた

発着艦不能になった翔鶴は
北西へ退避した



8時

翔鶴と瑞鶴の2次攻撃隊は
炎上するホーネットの近くで
無傷のエンタープライズを発見
すくさま目標を切り替え
エンタープライズを攻撃した



24機が撃墜される中
翔鶴隊が『エンタープライズ』に
爆弾3発命中 至近弾1発
瑞鶴隊は駆逐艦『ホーター』撃沈
『スミス』を大破させた

9時30分

続いて隼鷹の1次攻撃隊が襲いかかり
エンタープライズに至近弾1発
戦艦『サウスダコタ』、軽巡『サンファン』に
それぞれ爆弾1発を命中させた

隼鷹隊は13機が撃墜された
傷ついた第16任務部隊は
海域から退避した



9時40分
瑞鶴は1次攻撃隊を收容した



さて...と

また
空母は私一人に
なっちゃったわね

分かってるって
加賀さん

仇を
取れってんでしょ



10時30分
瑞鶴
単艦で敵方向へ進路を取る



うおおおお

11時6分
隼鷹は第3艦隊へ合流に向かいつつ
収容した機を合わせ第2次攻撃隊
15機を発進させた



出撃可能13機か
随分やられたものね



これで
止めだ

ホーネット



11時15分
瑞鶴
第3次攻撃隊13機を
発進させる



13時10分
同25分、隼鷹2次攻撃隊魚雷1
瑞鶴3次攻撃隊爆弾1

炎上する
ホーネットに
追い討ちの攻撃が
行われた
この攻撃では隼鷹の
7機が未帰還となった



13時30分
戦闘はほぼ終わっていたが
隼鷹は再び収容した17機で
3次攻撃隊10機を編成し出撃させた

ぬおおおお

命令を受けたパイロット達は
「おた行くんですか!」と驚いた

15時10分
隼鷹の3次攻撃隊は
ホーネットに爆弾1発を
命中させた



ホーネットの曳航を諦めた米軍は
見分のため魚雷9本、砲弾300発を
撃ち込んだが沈められず
撤退した

20時14分
第2艦隊が現場に到着し
「巻雲」「秋雲」が
魚雷3本を撃ちこみ
ようやく沈没させた



22時55分
隼鷹は第3艦隊と
合流を果たした



瑞鶴はん!

まったく



何回攻撃してんのよ
アンタは



思い知つたか
ヤンキーどももオ

- CV-1 ラングレー撃沈
- CV-2 レキシントン撃沈
- CV-3 サラトガ大破
- CV-4 レンジャー大西洋
- CV-5 ヨークタウン撃沈
- CV-6 エンタープライズ中破
- CV-7 フスブ撃沈
- CV-8 ホーネット撃沈

10月26日
開戦から11ヶ月

ハルゼーの挑戦を退け
日本の空母部隊は
ついに太平洋から
全ての米空母を撃退した



南太平洋海戦

そうか



史上最悪の『海軍記念日』だな

だが日本側もここまで戦いで
技量で米英に劣らないよう
訓練を積んだ開戦時の搭乗員達を
ほぼ失ってしまった
もともと海軍は艦隊決戦に主眼を
置いていたため搭乗員の育成は補充
程度しか行っていないが

開戦時
経験2年以上の搭乗員
3478名
18年2月方島撤退までの
搭乗員戦死
3045名

飛行予科練習生入隊数(役務付)	
昭和16年	約8000 (3212)
昭和17年	8381 (4051)
昭和18年	4万4092 (3万9986)
昭和19年	11万7157 (11万6087)
昭和20年	5万8898 (5万8768)

戦況の推移に18年から大量採用を始め
2年の訓練期間を最終的に半年にまで
短縮し増員を図ったが
技量が低いまま前線に送ったため
送るそばから戦死し飛行機の数
揃えても戦果が上がらなくなった
これ以後搭乗員の練度不足は
解決できない問題の一つとなる

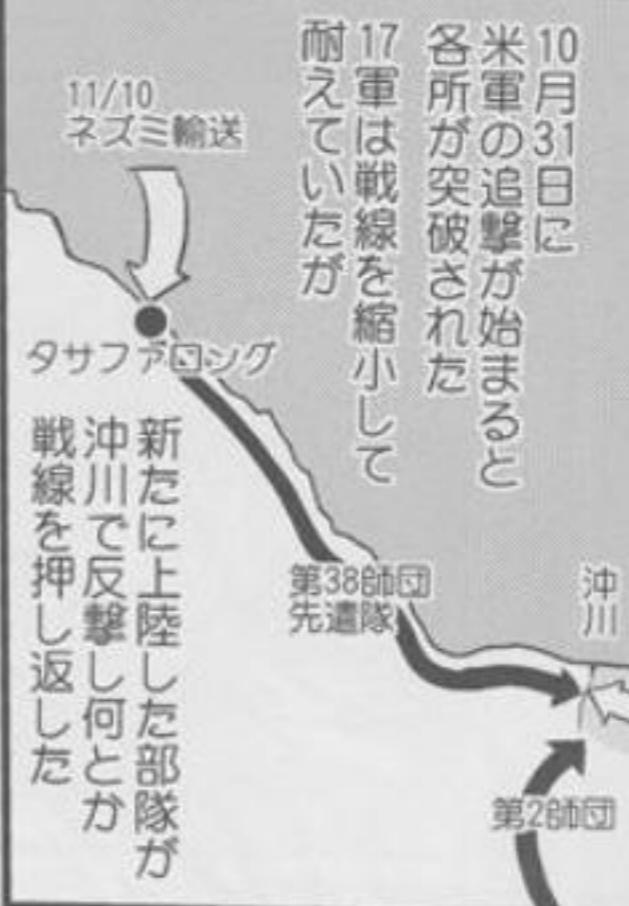
米機動部隊を撃滅したと
判断した連合艦隊は

翔鶴姉エ
傷はどう?

部隊を立て直しのため
準備を残して空母を
内地へ引き上げた



一方
総攻撃に失敗した日本軍は
食料も尽きた状態で
再びジャングルを通過
西へ後退し布陣したが
もはや戦力と
呼べる状態では
なくなっていた



10月31日に
米軍の追撃が始まると
各所が突破された
17軍は戦線を縮小して
耐えていたが

新たに上陸した部隊が
沖川で反撃し何とか
戦線を押し返した

もう一つの敵マラリアも
日米双方を襲っていた

米軍は密林深くには入らず
基地の周りの森林を焼き
殺虫剤(DDT)を散布して
蚊を防いだのに対して

日本は空襲を避けるため
蚊だらけの密林内に
潜むしかなく

食糧も医薬品も
極度に不足した中で
栄養失調の兵達はマラリア
デング熱、アメーバ赤痢
などで次々と倒れていった
辻参謀も
重度のマラリアに罹り
ガ島から脱出した



大本営は二度の総攻撃失敗により
ニューギニアよりもガ島が
日米の決戦場だと判断した

第8方面軍

司令部ラバウル

11月9日
ニューギニア兼任
だった17軍をソロモン
方面に専念させるため
ニューギニア担当の
18軍を新設した

合わせて第8方面軍として
ジャワ攻略の今村將軍を司令官に据え
38師団、51師団ほか大量の戦力を与えた



ガ島より戻った
辻や服部ら参謀達から
現場の状況を知った大本営は
戦略を練りなおした

劣悪な衛生状態で
病気が蔓延し
士気は麻痺している
弾薬は不足し食糧は
前線まで届いていない

17軍司令官は前線の
状況を理解していない

航空支援は皆無



夜間にコンコンと
輸送しても必要量に
全く足りない

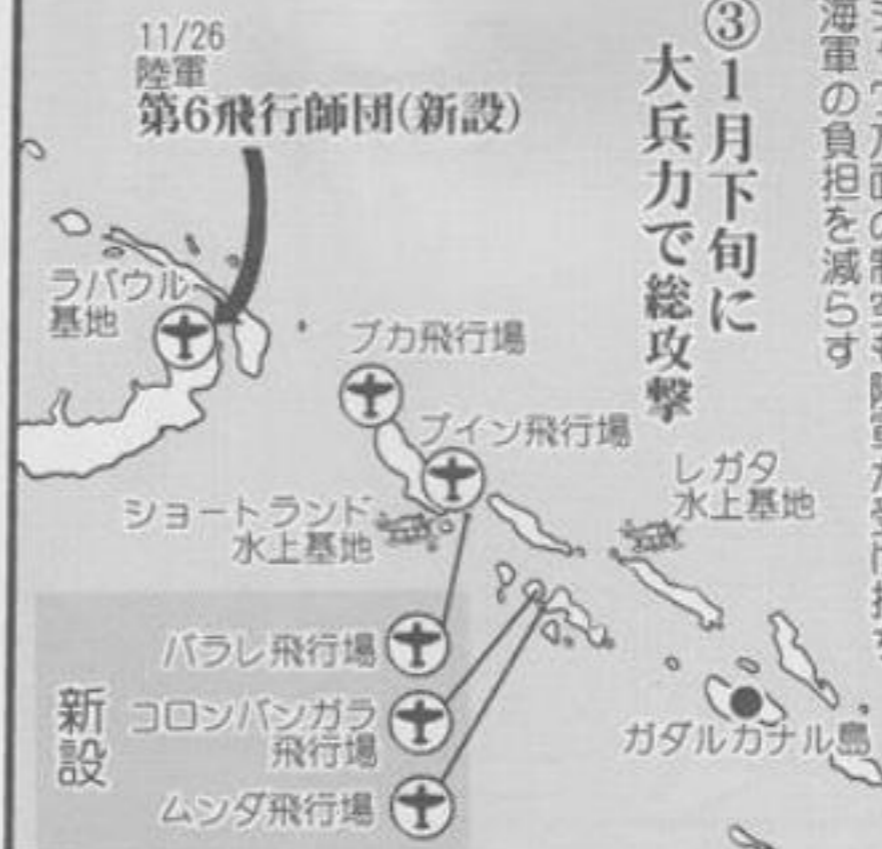
陸海軍でまとめられた方針は

①すぐに大量の物資と援軍を送る

②航空支援を拡大する

航空基地を増設しガ島にも飛行場を作る
陸軍航空隊もラバウルに進出する
シヤフ方面の制空も陸軍が受け持ち
海軍の負担を減らす

③1月下旬に
大兵力で総攻撃



陸軍は大型高速輸送船11隻を用意し
増援の38師団と重兵器、大量の物資を
積み込んだ

比叡
私の三式弾も
渡すから頑張るネー

聯合艦隊では金剛様名で成功した
飛行場砲撃を『比叡』『霧島』で行い
その間に輸送船団が突入する作戦が
立てられた

作戦に先立って行われた航空隊の
攻撃では大戦果が報告された(誤報)



日本側の動きを
察知したハルゼーは
ガ島の哨戒部隊を迎撃に向かわせ
同時にニューカレドニア基地から
戦艦『ワシントン』と『サウスタタ』
まだ修理中の『エンタープライズ』を
出撃させた

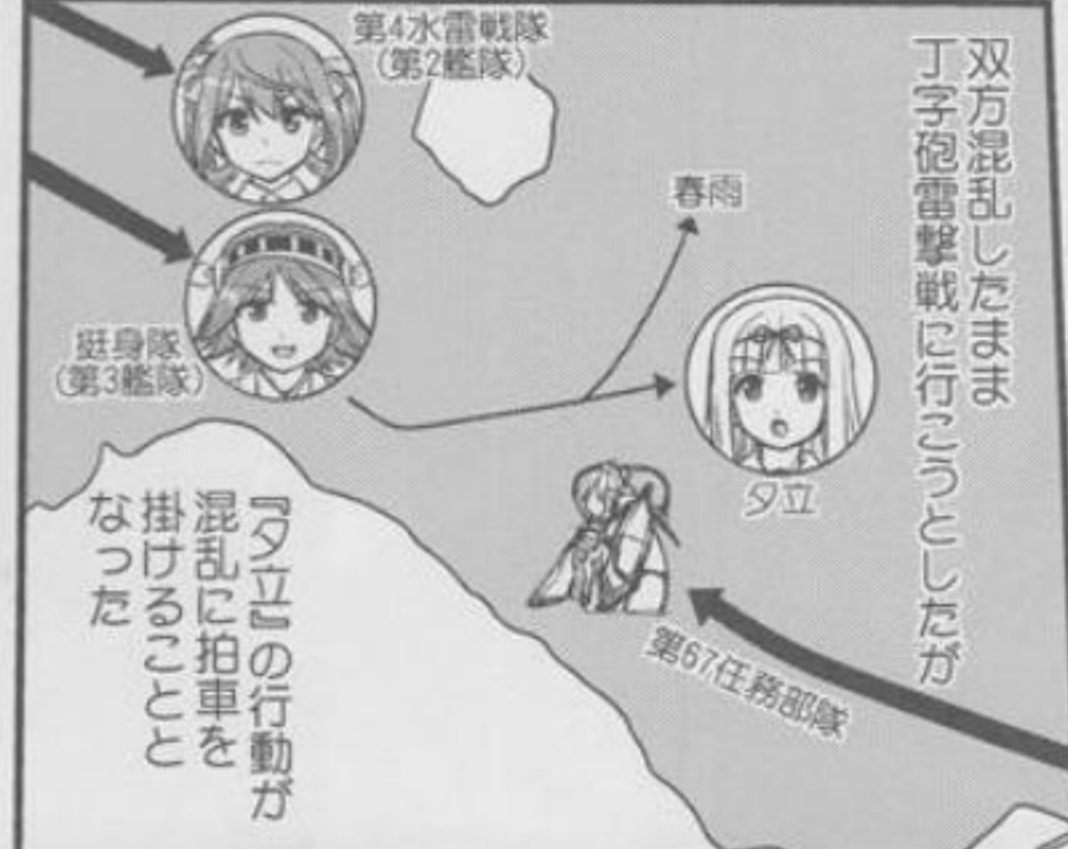


11月12日
状況の一時挽回を掛けた
大輸送船団は兵員物資を満載して
ショートランドを出発した
失敗が許されない任務だった

11月13日深夜1時30分頃
ガ島沖へ無事辿り着いた挺身隊が
飛行場の砲撃体勢に入ったその時
先頭を進んでいた夕立が敵を発見



米艦隊は先にレーダーで
挺身隊を捕えていたが
伝達や隊列の乱れで生かせず
キヤラハン司令官が発した
命令でさらに混乱した
敵が目の前だ
奇数番艦は右砲戦
偶数番艦は左砲戦
を行え



『夕立』の行動が
混乱に拍車を
掛けること
になった

♪守るも攻むるも 黒鉄の
浮かべる城ぞ 頼みなる

♪浮かべるその城 日の本の
皇國の四方を守るべし

挺身隊
(第3艦隊)

夕立

夕立は魚雷を発射した後
敵の真ん中に突入し
攻撃しながら突破した

第67任務部隊

砲弾と魚雷が
飛び交い
同士討ちが
続発し始めた

「比叡」は「長良」と共に
先頭の軽巡「アトランタ」を砲撃
大破させる

米の旗艦「サツフランシスコ」も
アトランタを誤射
アトランタは沈没する

そのサンフランシスコは
「霧島」「電」「雷」「照月」の砲撃で大破
キヤラハン提督も戦死した

比叡は探照灯めがけて
敵味方の集中攻撃を受け
航行不能となる申
「五月雨」に
対して反撃

狭い海域に敵13隻、味方14隻が入り乱れ
照明弾8発でリーダーの意味もなくなり
のちに「停電中の酒場の乱闘」
と言われる程の大乱戦になった

駆逐艦「暁」
「ハートン」「モンセン」「ラフエイ」は
敵味方不明の砲弾や魚雷を
浴びて次々沈没

重巡「ホトリランド」
駆逐艦「ステレット」「アーロンソート」
は同じく大破ならびに中破

乱戦の中「照月」は
駆逐艦「カッシンケ」
を撃沈

夕立は手当たり次第に周りを攻撃中に
軽巡「シユノー」が「長良」の誤射で
大破のち沈没

そのシユノーは夕立攻撃中に

「天津風」からの
雷撃で航行不能

その天津風は
軽巡「ヘレナ」の砲撃で
戦闘不能となった

ノーガードの殴り合いは30分続き
次第に日本軍は北へ米軍は東へ
バラバラと単艦で退避していった



飛行場の砲撃が
中止になったことで
輸送船団は命令を受け
引き返した

退避中に
軽巡『シムノー』は
『伊26』の雷撃を受け
沈没した

明るくなる頃
現場には動けなくなった
比叡が残されていた



あれは
隼鷹の航空隊……
守ってくれてるのか

母艦支援隊の
金剛お姉様達が
頼んでくれたのかな
嬉しいなあ



でも
とても無理
だな……



一日を通しガ島飛行場と
到着したエンタープライズの
航空攻撃を受けた比叡は

午後4時頃
回復不能となり自沈した



山本は作戦を修正した

今夜は第8艦隊が突入して
残敵の掃討と飛行場破壊を行い、

明日夜に挺身隊の飛行場破壊に
合わせて船団が突入する



一方、前夜の戦いで
67任務部隊が壊滅したハルゼーは
戦艦ワシントンとサウスタコタに
駆逐艦4隻を付け
鉄底海峡へ急ぐよう命じた

14日深夜2時
第8艦隊は突入し
飛行場砲撃に成功

第7戦隊の
駆逐艦『摩耶』は
989発を撃ち込み
18機撃破32機に
損傷を与えた

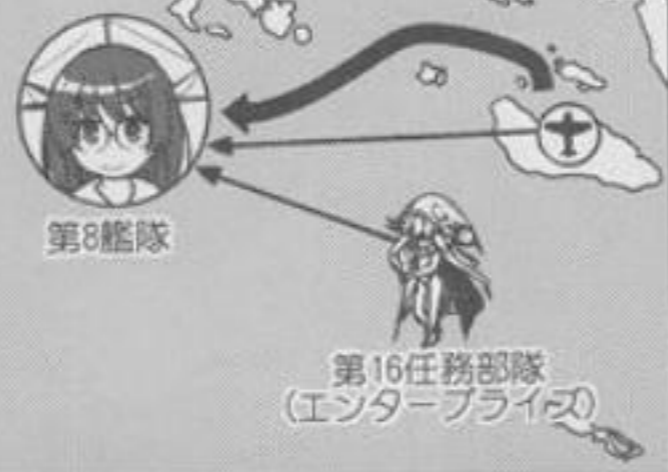
だが重巡の砲では
滑走路を使用不能に
させる威力はなかった



敵艦隊も探したものの
遭遇せず

第8艦隊は夜明け
前に西方へ退避した

しかし夜が明けると
エンタープライズの
索敵機に発見され
ガ島航空隊と共に
執拗に攻撃を受けた



9時20分
衣笠が魚雷4本を受け沈没
『摩耶』『鳥海』『五千石』も損傷し
シヨートランドへ引き返した



13時
輸送船団は夜の突入のため
シヨートランドを出発した

しかしこれもガ島から飛来した
エスタープライズの航空隊に
発見され8回もの波状攻撃を
受け続けた

日本もラバウル航空隊、空母艦載機
水上機部隊が総力で上空護衛を
行ったが守りきれず
輸送船団は11隻中6隻が沈没
2隻は被弾で帰投し
輸送作戦は瓦解寸前となった

しかし連合艦隊司令部は
もはや引き返すことなく
残る4隻をガ島へ
前進させた



…と見せかけて
敵と並走し魚雷発射の
チャンスを狙った

夜戦で引くわけに
行くかよ!

「川内」達は煙幕を張って
回避した

日本の水雷戦隊は
駆逐艦「ウォーク」
「フレストン」を大破放棄させて
戦艦の護衛艦を一掃し
サウスタゴタにも魚雷を命中させた



サボ島を挟んで
単艦行動となった「綾波」と
「長良」率いる「五月雨」も
攻撃を開始した

次は護衛を失った米戦艦2隻対
「愛宕」「高雄」「霧島」3隻の
激しい撃ち合いが始まった

敵は戦艦と思われる
相手にとつて不足なし
撃ち負けるな!

矢面に立ったサウスタゴタは
次々と42発の命中弾を
受けた

ワシントンはその後方から
SGレーダーで日本側にも
戦艦がいると探知した

おおお

ワシントンへ砲撃を開始し
ここに太平洋戦争
最初で最後の

帝国海軍が望んでいた
戦艦同士の砲撃戦が
実現した



だが艦齢27年の霧島と最新型のワシントンの
撃ち合いは一方的な結果となった

ワシントンはマーク3射撃管制レーダーを
搭載しており次々と命中弾を与えた

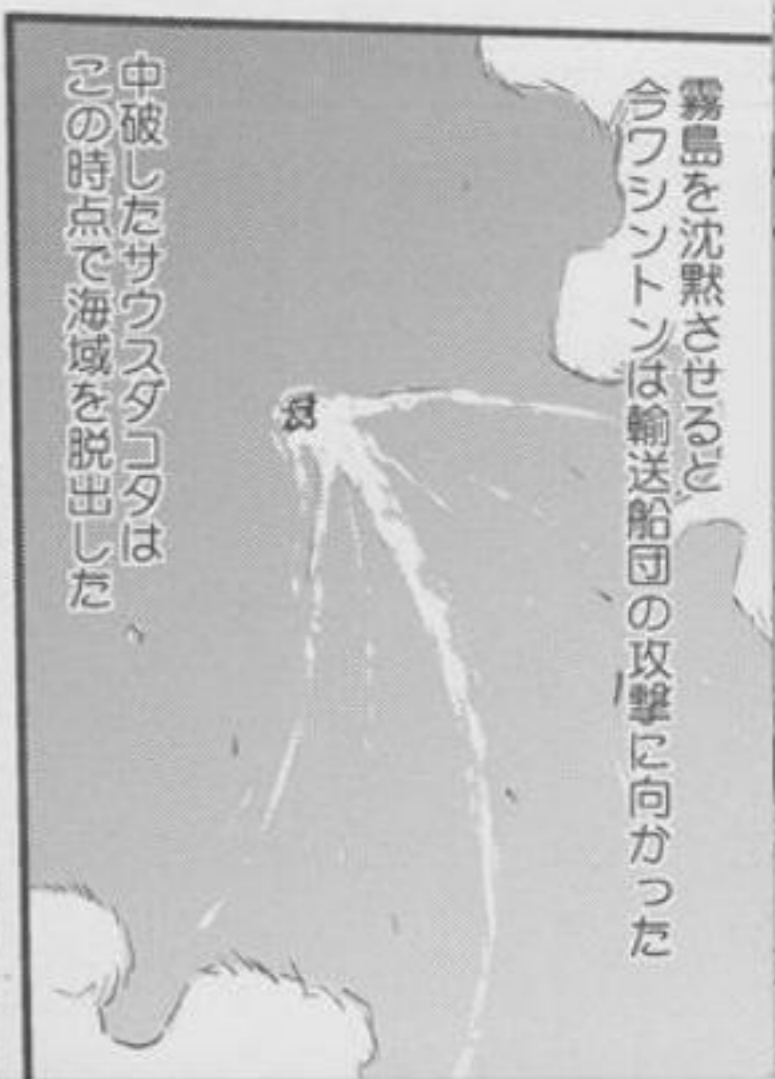


ワシントンは射撃を再開し
15発を発射し9発を命中させた



撃沈したと思った
ワシントンが
射撃を停止すると

霧島は再び
反撃



霧島を沈黙させるべく
今ワシントンは輸送船団の攻撃に向かった

中破したサウスダコタは
この時点で海域を脱出した



しかし愛宕がワシントンに並走しながら
砲撃を続け他の水雷戦隊も追いつけず
盛んに雷撃を行った
ことから



ワシントンも
船団攻撃をあきらめて離脱した



15日1時25分
霧島は沈没した

戦艦による
二度目の飛行場砲撃は
遂に成らなかつた



2時
日米双方が引いた隙を狙い
輸送船団はガ島に突入した

田中少将は残る4隻を
絶対に撃沈されないよう
浅瀬へ乗り上げ艦座させた

しかし座礁からの荷揚げは
通常より時間が掛かり

夜が明けるとすぐに
米飛行機の空襲が始まり
輸送船や物資は焼失した

最終的に兵員2000名
弾薬260箱
食料4日分を届けただけで
大輸送船団は壊滅した

第二次ソロモン海戦



大本営ではこの結果を「大勝」と
宣言を言い出す者が多かった

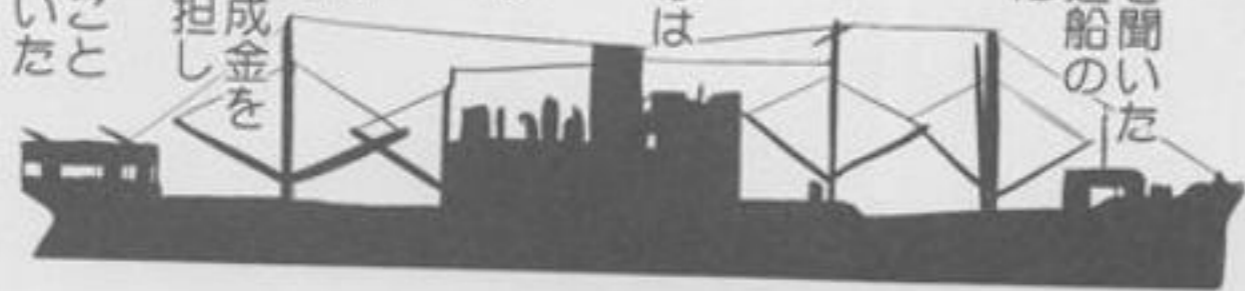
現地部隊を含め
あくまでガ島奪回の方針に
大きな変更はなかつた



輸送船8万トンが
水没した数日後
陸軍は37万トンそれを聞いた
海軍は25万トンの輸送船の
増徴を政府に要求した

軍の輸送船というものは
平時には必要ないが
戦時には船員を含め
大量に必要な物である

そのため政府や海軍は
海運会社が新型の優秀
な船を購入する時に助成金
を出したり一部資金を負担し
戦時には徴用して船員ごと
雇入れる契約を結んでいた



戦前の大東亜戦争は日本の国力を衰えさせて
いた日本は世界3位の輸送船団を保有していた

総輸送量
600万トン

国力維持に
最低必要量
300万トン



軍徴用
300万トン



開戦すると国内の商船、港湾、航路は全て
国家管理となり『国家徴用』と『軍徴用』の
2種類の徴用を受けた

当初は軍の大規模な輸送が必要なため
国力維持に最低必要量だけ残し
軍徴用を優先したが二年目からは順次
解徴して戻すことになっていた

12月5日
政府は軍部の要求に対してやむを得ず
陸軍24万トン海軍3万トンを認めだが
陸軍には半年後に18万トン解徴の
条件を付けた

18万トン返せだと
状況が分かっていると
のか!
統帥権の侵犯だ!

貴様
殴ったな

政府の決定を伝えに来た
陸軍省軍務局長の佐藤賢了は
ガ島は撤退すべきと考えており

参謀本部作戦部長の田中新一
論から殴り合いとなった



翌日
参謀本部の田辺と田中は
総理官邸へ直談判に向かった

前線の兵隊が
餓死してゐるんです

国力が維持できず
国が崩壊する

戦争に負けたら
国力も何もない！

陸軍省の閣僚達と
双方大声の激論となつた



この
馬鹿野郎

頑として決められた量を
譲らない東條を
遂に田中は怒鳴りつけた

貴様
首相に向かつて



東條は声を荒げることは
なかつたが

何を言いますか
統帥の重責を
負う者として
言葉を慎みなさい



翌日
田中は参謀本部から外され
南方へ転属となつた
同時に作戦課長の服部卓四郎も
転属になりガ島強行派は更迭された

もともと東條は
陸軍開戦派を抑えるために
首相に据えられたので



内政や経済に対して
方針を持つてゐるわけ
ではなかつた

開戦してからは
『統帥権の独立』で作戦にも
関与できなくなつたため

物には限りがあるが
ただ無限にして
無尽蔵なのは
この精神力であります

もつぱら国民の戦意高揚や
意識改革の活動に力を入れていた



几帳面な事務屋だつた東條は
国策に反するような言動や組織を
許容できず

憲兵の権限を強めて言論の取締まりや
国民生活の監視を進めたため
『憲兵政治』と呼ばれるようになった



陸軍大臣も兼務して人事権を
握つていたため

これも自分と衝突する相手を
左遷させることに多用し
連合国側に独裁者という
イメージを持たれる元となつた



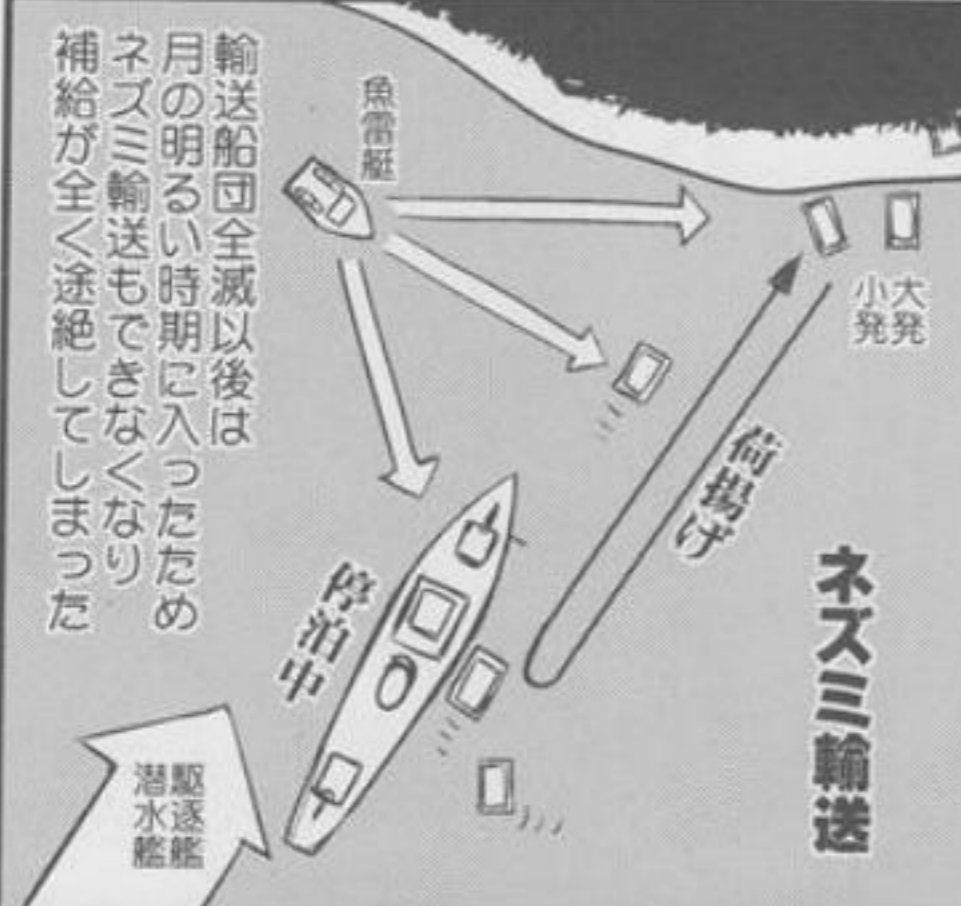
11月に入りニューギニア方面も
制空権を握られ増援や補給が
できずジャングルを撤退中に
傷病者が続出するといふ
ガ島と同じパターンに
なつていた



こちらは
米軍が空輸を
使って反撃
日本軍は撤退を
続け出発点の
ゴナで包囲され
追いつめられた

ガ島では夜に高速な魚雷艇が
沿岸を哨戒するようになり
荷降ろし中の駆逐艦や島まで運ぶ
太発や小発が狙われるようになった

ネズミ輸送



輸送船団全滅以後は
月の明るい時期に入つたため
ネズミ輸送もできなくなり
補給が全く途絶してしまつた

11月24日
1日1隻の潜水艦による
輸送が始まった

しかし成功率が低い上
わずかな量しか運べず
12月9日に『伊3』が魚雷艇に
撃沈されるとそれも中断となった

島では米軍は積極的攻勢には出ず
日本軍が自滅して行くに任せた

監視を続けて密林や海岸に
ちよっと動いた動きでも見つけたら
そこに激しい砲撃を行なった

日本軍2万人は火を起さずとも
海岸に出ることも出来ず
食べられる物は食べ尽くした
高温多湿のジャングルの中に
放置された

持ち場を放棄し食べ物を求めて
うるつき回る瘦せこけた兵達は
『ガ島ルンペン』と呼ばれた

これを？

いい案でしょ
物を半分詰めたドラム缶を
引張って行って大発で
来た人に手渡すだけ

うっとうしい魚雷艇に
狙われる間もなく
私達はすぐ撤収できるし

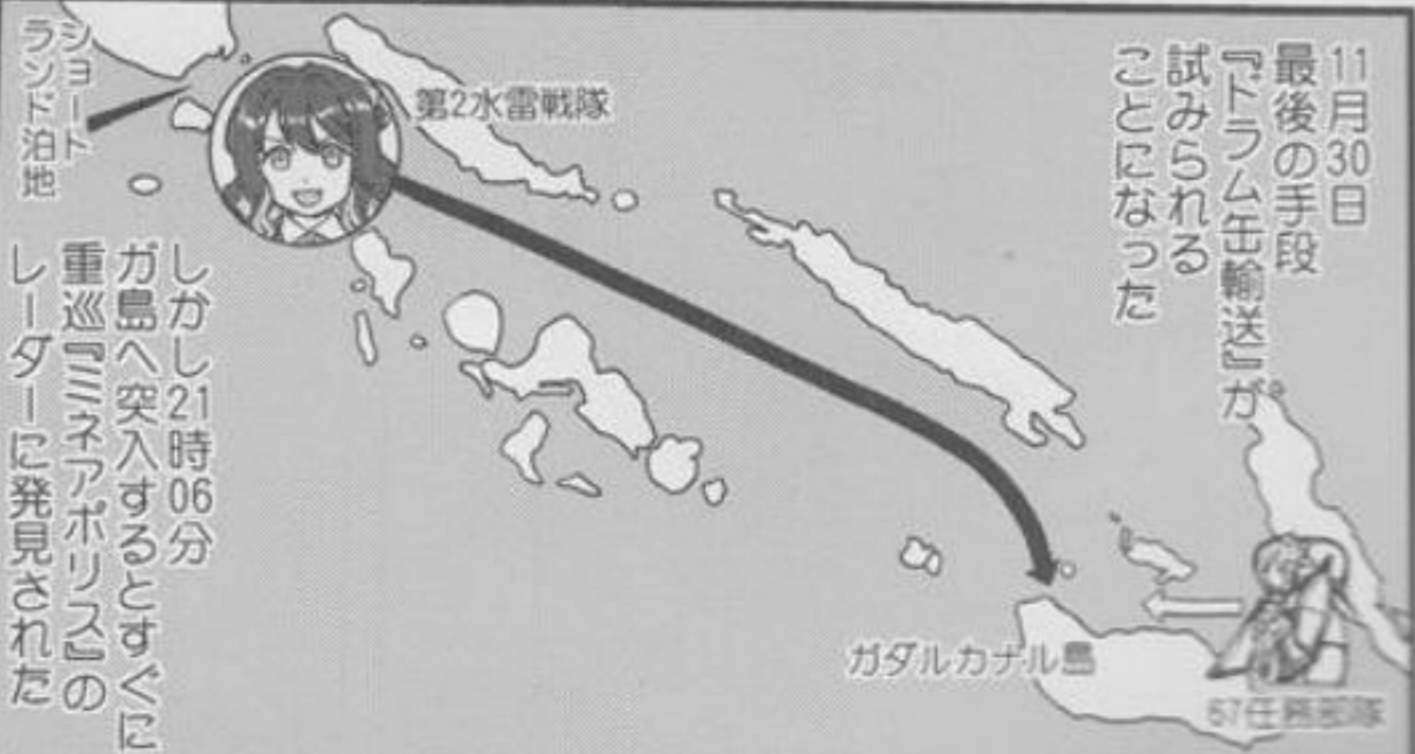
後は島の兵隊さん達が
自力で引張る
上げるって寸法ね

そんなに
上手く
行くかな…

や…やるしかないです
私達がこれ届けないと
陸軍さん達は今日
食べる物も…

せや
もう他に方法が
あれへんのや

11月30日
最後の手段
『ドラム缶輸送』が
試みられる
ことになった



しかし21時06分
ガ島へ突入するとすぐに
重巡『ミネアポリス』の
レーダーが発見された

6分後
前路警戒に先行していた
『高波』も敵を発見した

敵発見です
距離6000

近いわ!
どないするんや長波!?

こんなん引きずって
よう戦われへんわ!

あーもう

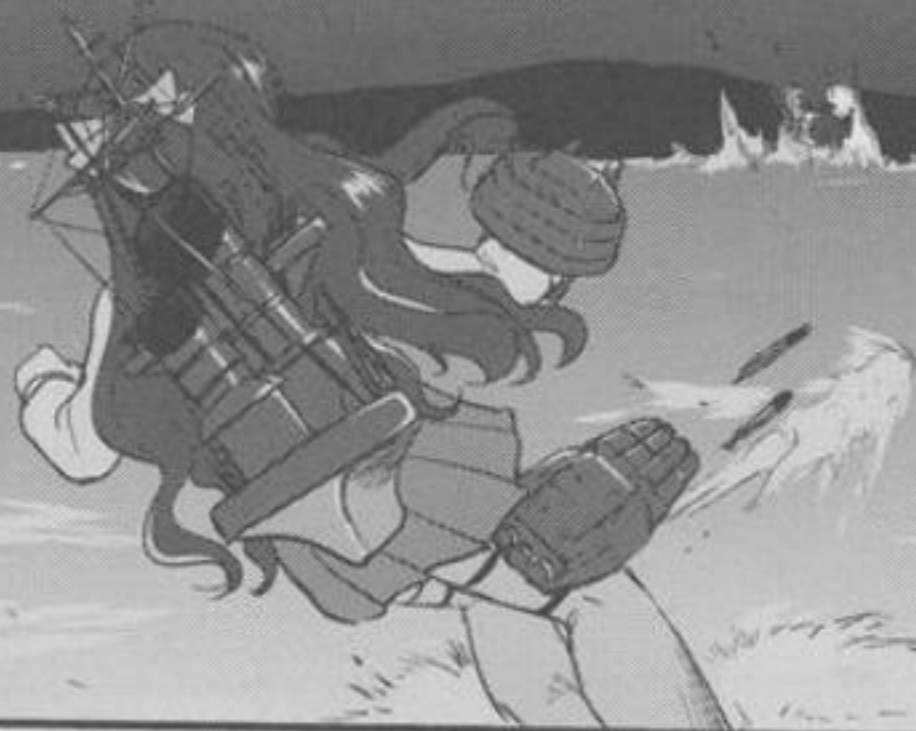
せっかく
ここまで持って
きたってのに

許さん

揚陸やめ
全軍突撃

アイアンボトム
鉄底に加えてやれ

21時20分
米巡洋艦部隊が砲撃を開始
攻撃は警戒隊の『高波』に集中した



次々と命中弾を受けながらも
砲撃で反撃する高波の後ろから
『長波』が狙いすまして魚雷を発射

続いて『江風』『涼風』も
魚雷を撃ち反転回避した



『黒潮』『親潮』は
米艦隊を二回り過ぎて
後方から雷撃を行った

今や
よく狙って
撃つんや!



黒潮とはぐれた『陽炎』『巻波』は
敵を追撃し重巡『ノーザンブトン』
に魚雷2発を命中させた

ノーザンブトンは
その場で轟沈した



第2水雷戦隊が放った
魚雷は重巡部隊に次々命中

『ノーザンブトン』沈没

『ミネアポリス』大破

『ペンサコラ』大破
『ユイオリンス』大破



日本の酸素魚雷の
能力の高さを
見せつける戦いとなった

日本側は
駆逐艦『高波』が
敵の攻撃を一手に受けて
沈没した

67任務部隊の巡洋艦部隊は壊滅し
以後米軍はこの海域に巡洋艦を
投入しなくなった



大勝利をもたらした
長波の決断を
賞賛する声がある一方

高波
よくやった

輸送作戦の
失敗を批判する
声もあった

ルンガ沖夜戦



シヨートランドへ戻った
第2水雷戦隊は3日後の12月3日
すぐに第2次ドラム缶輸送に出発した

今度は米艦隊の姿はなく
引き渡しに成功した

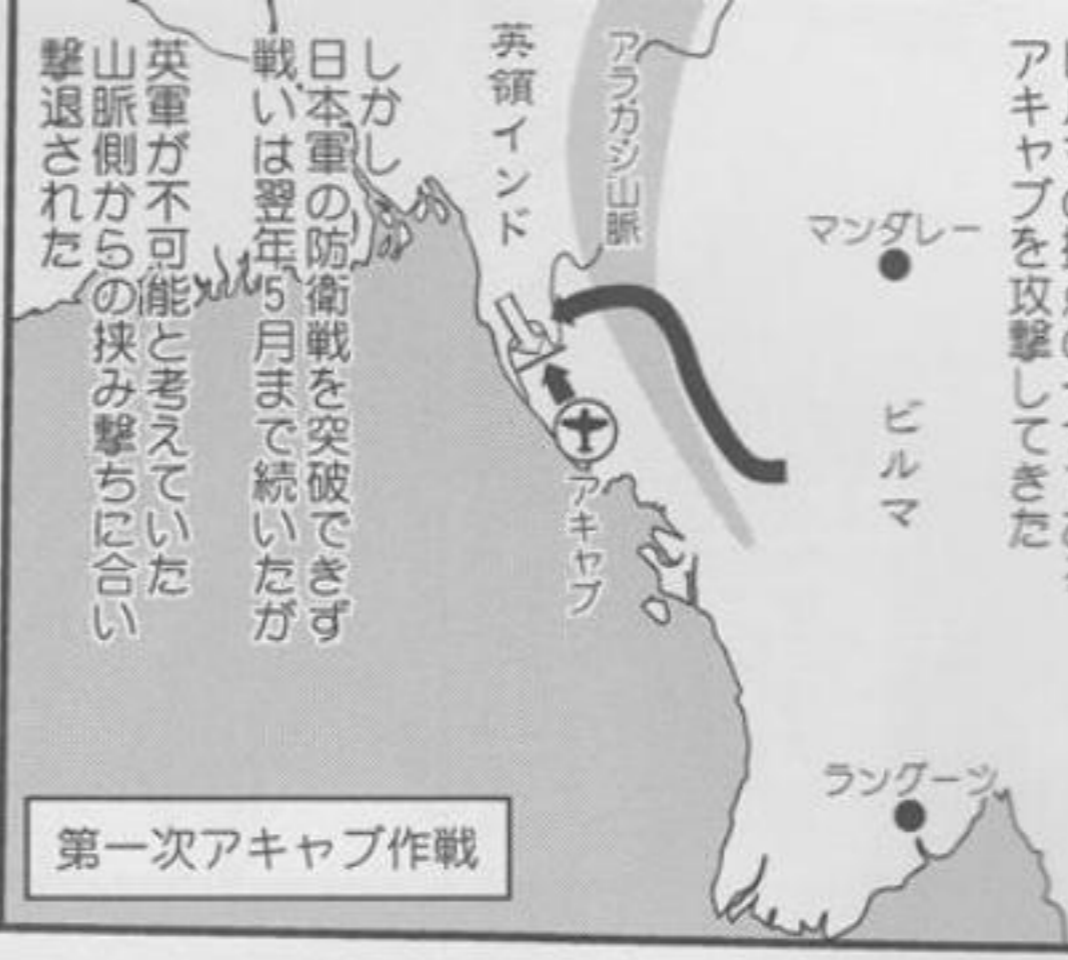
だが数日後17軍には
1500個中310個しか
届いてないことが判明した

栄養失調の兵士達は
朝までに陸に引っ張り上げる
ことが出来なかったのだ

米軍はドラム缶にも徹底的に
攻撃を加え『撃沈』していた



12月1日
インド領内の英印軍4個師団が
ビルマの拠点の一つである
アキヤブを攻撃してきた



第一次アキヤブ作戦

しかし日本軍の防衛戦を突破できず
戦いは翌年5月まで続いたが
英軍が不可能と考えていた
山脈側からの狭み撃ちに合い
撃退された

12月6日
ドラム缶輸送の結果を知った
第11航空艦隊の草加中将はラバウルの
陸軍に輸送を打切ると伝えた



輸送で水雷戦隊が
すり減って
戦ができなくなる
海軍は約束通り
やってくれ

陸海軍共に撤退と言いつせないまま
ドラム缶輸送は続行されたが
12月7日の第3次ドラム缶輸送は
魚雷艇に邪魔され中止
12月11日の第4次ドラム缶輸送は
魚雷艇に新型駆逐艦『照月』が撃沈
された上に1200個投下の内
220個しか回収されなかった

誰も言い出せ
ないなら俺が
悪者になろう

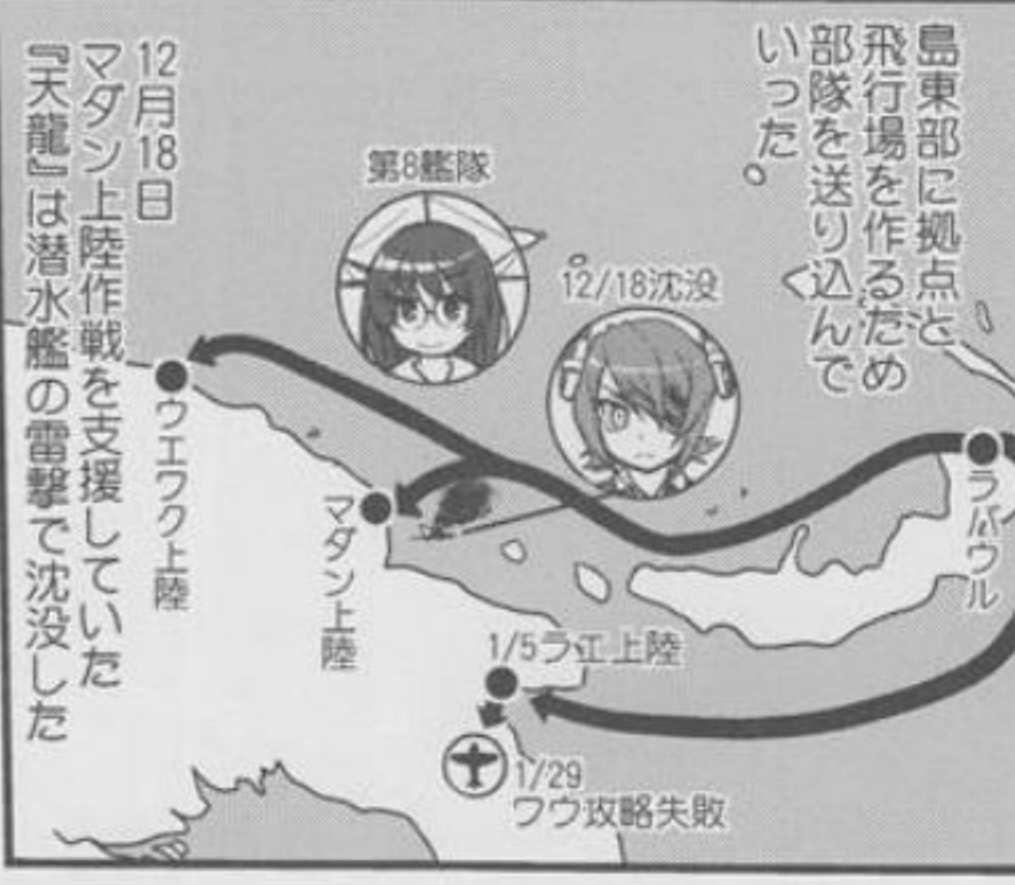


山本は軍令部に
『ガ島奪回は事実上不可能』と伝えた
以後駆逐艦輸送は再び途絶した
海軍に激怒する辻参謀を見て
杉山参謀総長は現況を包み隠さず
天皇に奏上した

1月13日 21旅団は残る日本兵
を集めて大発でラエへ移動した
ポートモレスビー攻略『レコ作戦』は
玉砕という形で終わりを告げた

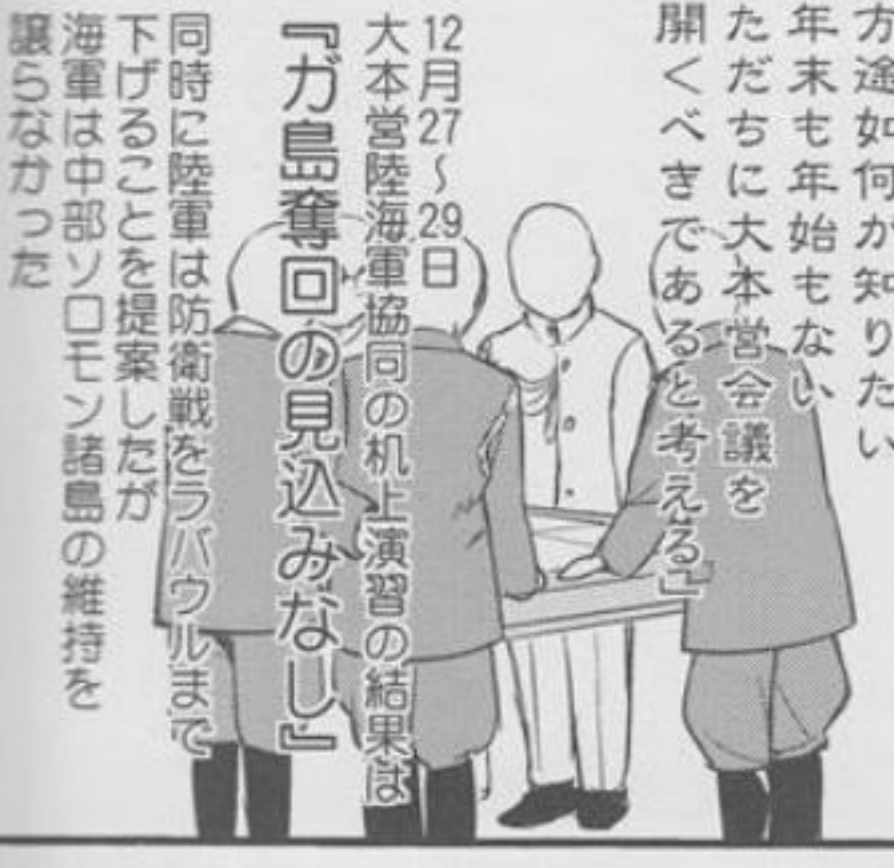


ニューギニア担当の18軍は
ポートモレスビー攻略を諦める
ことなく



12月18日
マタン上陸作戦を支援していた
『天龍』は潜水艦の雷撃で沈没した

12月20日 天皇は大本営に伝えた
「如何にして敵を屈服させるかの
方途如何が知りたい
年末も年始もない
ただちに大本営会議を
開くべきである」と考える



12月27、29日
大本営陸海軍協同の机上演習の結果は
『ガ島奪回の見込みなし』
同時に陸軍は防衛戦をラバウルまで
下げること提案したが
海軍は中部ソロモン諸島の維持を
譲らなかつた

ガ島補給の努力は続けられていたが
12月20、26日
飛行機による物資の投下が行われたが
熱帯のジャングルでは通信機器が
すぐ故障し連絡が取れず効果不明で
一週間で終了した



26日からは
1日1隻の潜水艦輸送が再開した

12月25日
ラバウルの第11航空艦隊草加司令官は
実際は第8艦隊の指揮も採ってきたが
『南東方面艦隊』として正式に命令系統が
統合された



南東方面艦隊

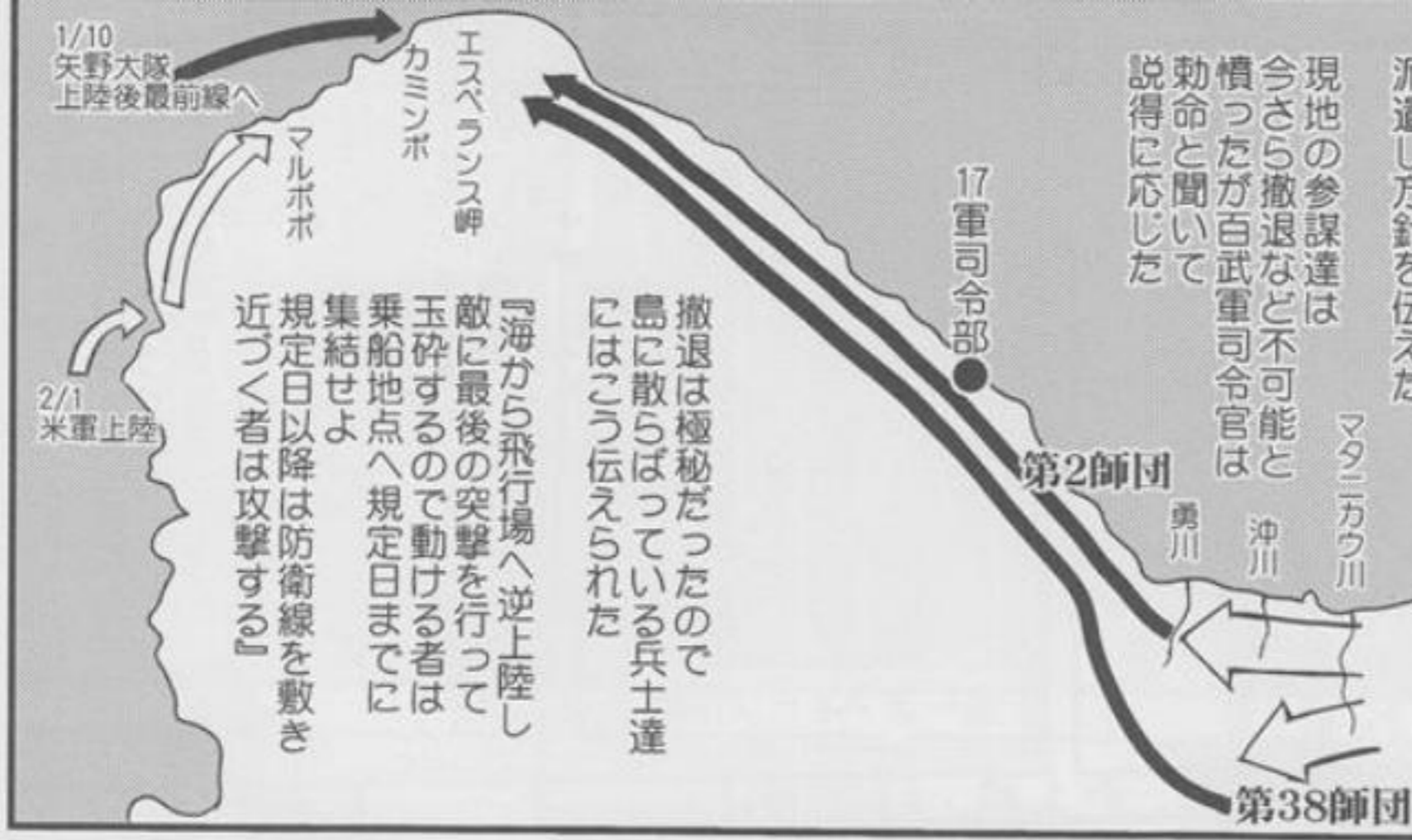
12月31日
大晦日
遂に御前会議で
ガダルカナル島
からの撤退が
決定された



ガ島の戦線は膠着状態にあつたが米軍はマラリア患者が多発した前線部隊が交代し1月10日再び攻勢を開始した日本軍の前線は戦争どころではなくなつており次々と撃破された

参謀本部は撤退のための最後の増援と共に井本参謀を17軍司令部に派遣し方針を伝えた

現地の参謀達は今さら撤退など不可能と憤つたが百武軍司令官は勅命と聞いて説得に応じた



撤退は極秘だったので島に散らばつてゐる兵士達にはこう伝えられた『海から飛行場へ逆上陸し敵に最後の突撃を行つて玉砕するので動ける者は乗船地点へ規定日まで集結せよ』

規定日以降は防衛線を敷き近づく者は攻撃する

撤退を悟られないよう攻勢準備に見せかける陽動作戦が行われた

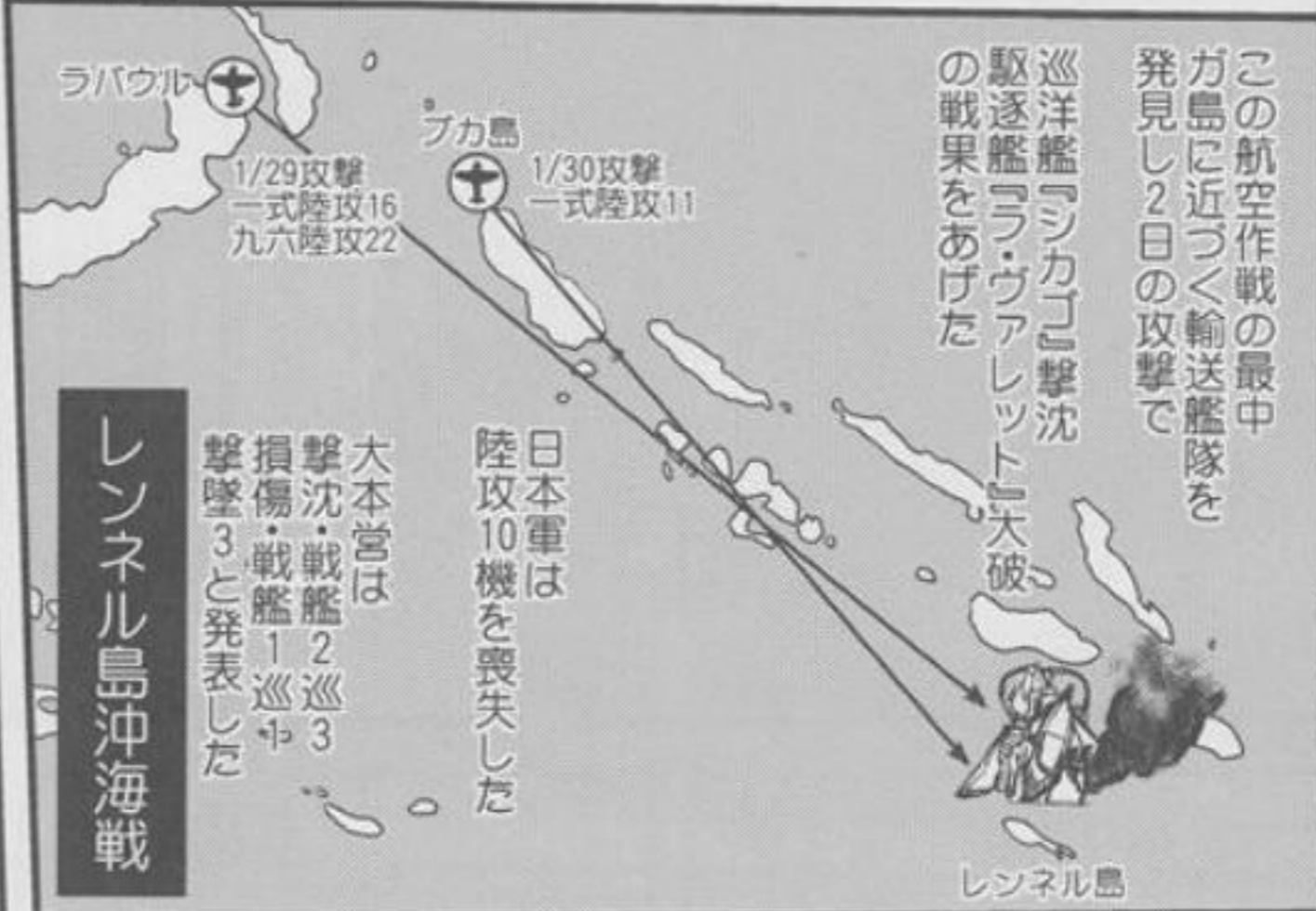
米軍の攻勢は1月26日に勇川を超えて止まつた



1月2、10、14日には駆逐艦によつて再びドラム缶輸送のほか小型舟艇と船舶工兵、無線通信部隊なども送り込まれた

空の支援は陸軍航空隊も協力した19日から連夜の飛行場夜間爆撃25日は零戦72陸攻1227日は集69九九双爆9が出撃し航空撃滅戦を行ったしかしこれは不調に終わった

この航空作戦の最中ガ島に近づく輸送艦隊を発見し2日の攻撃で巡洋艦『シカゴ』撃沈駆逐艦『ラ・ウアレット』大破の戦果をあげた



レンネル島沖海戦

2月1日『ケ号作戦』はいよいよ第二次撤収が始まり駆逐艦20隻が鉄底海峡へ侵入した

航空隊は海峡への巨の攻撃で駆逐艦『ド・ヘイブロン』を撃沈していた





ううう…

うう…お

おお…



これが…

精銳を謳われた
皇軍の…



落ち着いて！
落ちないように
気をつけて
登ってください！

ううー

ううう

登った人は
できるだけ
手を貸して
大丈夫です！
私達が必ず守ります



白雪！
魚雷艇よ



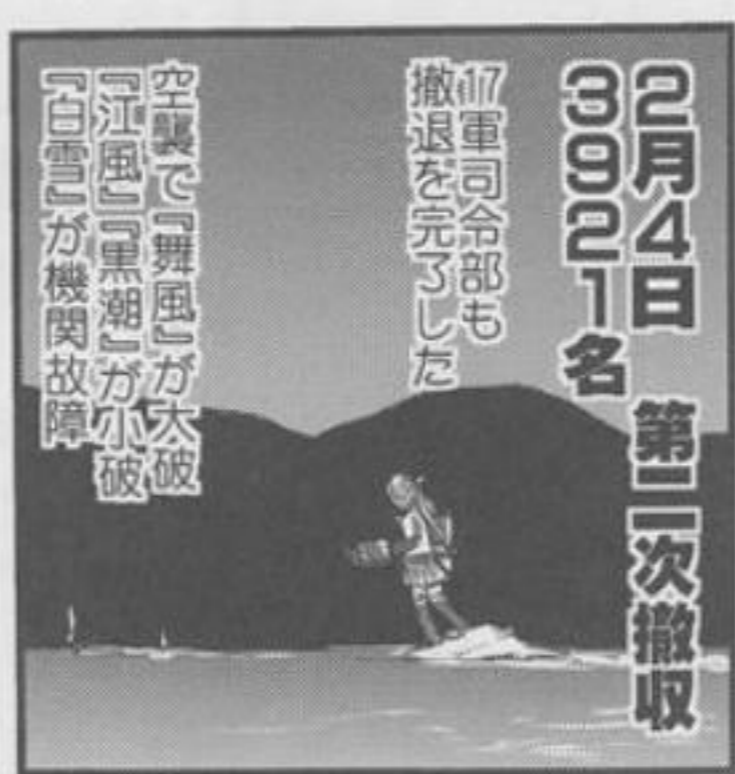
邪魔するな
この野郎

日本軍は
哨戒中の魚雷艇
11隻中3隻を撃沈した



2月1日 第一次撤収
49635名

「巻雲」が機雷で沈没
「巻波」が空襲で大破した



2月4日 第二次撤収
3921名

17軍司令部も
撤収を完了した

空襲で「舞風」が大破
「江風」「黒潮」が小破
「白雪」が機関故障



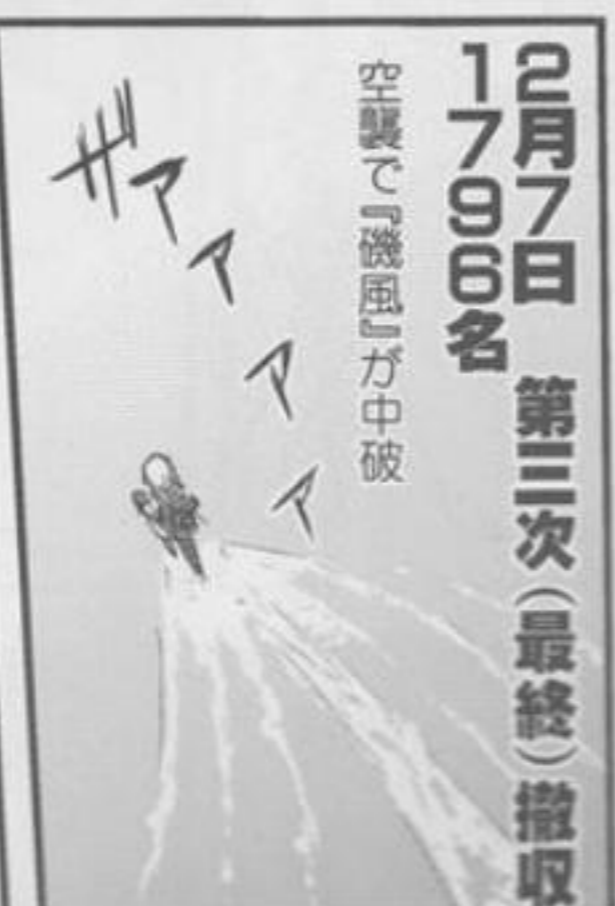
主な撤収も終わり
第8艦隊司令部は
米軍も気づく頃迄と
残存兵の撤収に
損耗が続く駆逐艦を
使うことを決り
陸軍と議論になった

行きます



行かせて下さい

これに現場の駆逐艦部隊
全艦が出動を名乗り出て
決行となった



2月7日 第三次(最終)撤収
1796名

空襲で「磯風」が中破



残っている
兵はいませんかー



残つてる
日本兵は

もう
いませんかー



これが
最後の便です

動ける人は、
海岸まで出て下さい

2/9 大本営発表

(前略) ガダルカナル島に作戦中の部隊は昨年八月以降引続き上陸せる優勢なる敵軍を同島の一角に圧迫し激戦敢闘、克く敵戦力を撃攘しつつありしが其の目的を達成せるに依り、二月上旬同島を徹し他に転進せしめられたり (後略)

上陸3万1404名
撤収1万0652名
(海軍848名)
2万名の死の8割弱が
栄養失調や伝染病によ
る『餓死』だった
撤退という形で終わっ
たが全体から見れば
開戦から続いた日本軍
の攻勢を米軍が凌ぎ切
ったという戦いだっ



.....

また
満員だ



43年も
もう2月...



提督...
この戦争はもう

すでに戦争は終わっているが
最悪でもあと一回の大勝利で
アメリカが講和に応じる状況に
まで追い込んでいないといけない



クリスマス島で
潜水艦にやられた傷
やっとほぼ治った感じ？

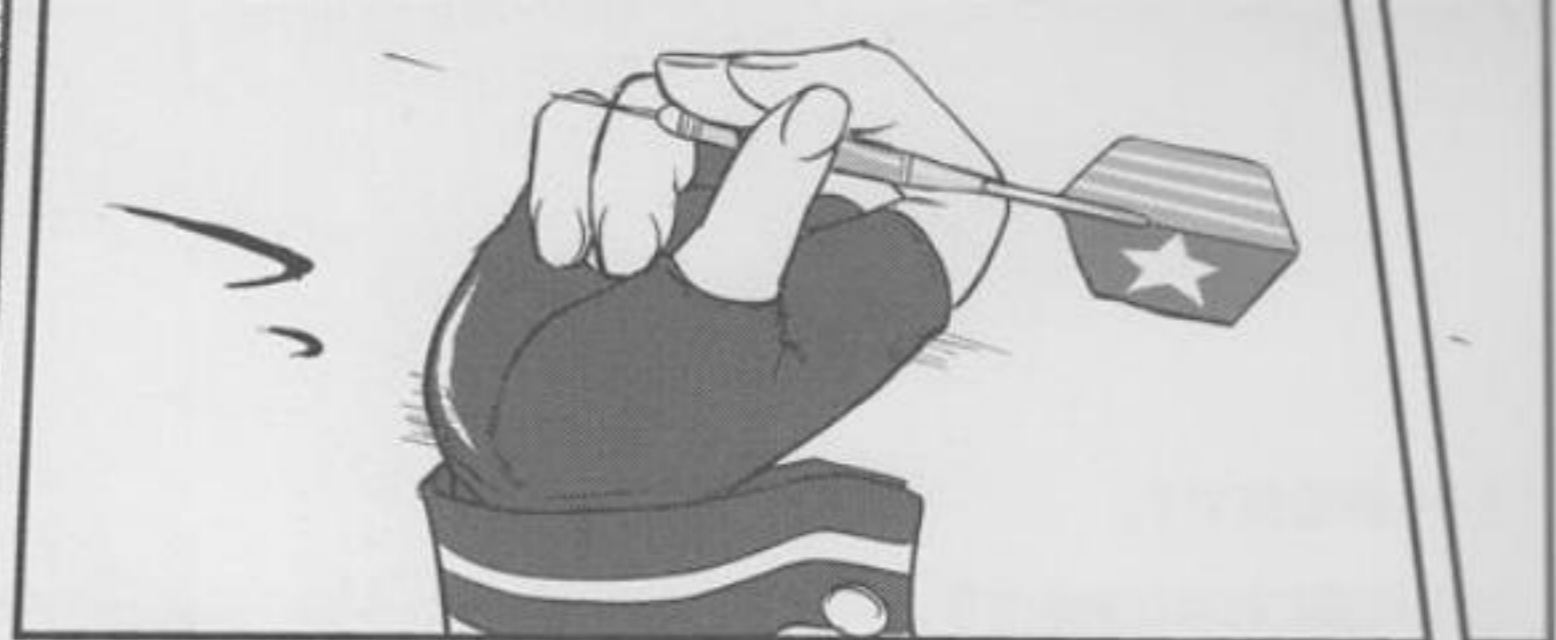
どうも

前を隠して
くたねこ



しらぬいー
今日はこれから？
那珂ちゃんが上がるから
ドック使ってもいいよー

ダ
ラ
ッ



そいつを倒すのが
お前達の仕事だ

そうだ



アドミラル・ハルゼー

ZUIKAKU
ズイカク

コイツが
レキシントンと
ホーネットを
やったのネ



航空機を集める

基地航空隊も
母艦搭載機も全部だ

敵の数倍の
航空戦力をもって
一挙に空の形勢を
逆転する

私自らが
ラバウルで
直接指揮を執る

時を同じくして
山本は最後の賭けに
出ようとしていた



トラック島
連合艦隊司令部



エセックス

1943年11月
戦争を決定づける
エセックス級空母の一番艦
『エセックス』就航

開戦～1942年の石油消費700万トン 南方石油生産350万トン(うち国内輸送142万トン)

1943年1月 日本の石油在庫 あと343万トン

どうも蛸壺屋です。

今回は艦これ本の続きです。
相変わらず字だらけの本で恐縮です。

扱った期間はミッドウェー海戦直後からガ島撤退まで1942年6月～1943年2月になります。
山本五十六が暴れてみせると言った期間だからそれなりに勝ち戦もありますな。
こうして調べつつ描いてみると日本軍も現場では何とかしようといういろいろ
頑張ってますね。細かく調べていくとNHKスペシャルで見てたエピソードは
こう繋がっていたのかなどと発見が多くて興味深いです。
いつものごとく調べる事に時間を取られスケジュールがどんどん遅れて大変でした。
さらにネットに諸説あるエピソードや数字は取り扱いが難しく頭を抱えてました。

さて遂に主人公が沈没してしまいました。今回相手を務めた叢雲も沈んでしまったので
続けるなら上手いボタンタッチが必要になりますね。

あと、艦これ公式のエセックスは間に合わなかったのが深海棲艦のボスと悩みましたが
アイオワの艦装をちょっといじってエセックスというということにしました。
最後のハルゼーとのやり取りを描きたかったのが人型にしたかったのです。

とりあえず今回の反応を見つつ、また次回の構想を練りたいと思います。

それにしてもエンタープライズは憎たらしいですね。

ではまた次回お会いしましょう。

誌名 テートクの決断 鉄底海峡

発行者 蛸壺屋

発行日 2016年8月14日

印刷所 大陽出版

ご意見ご感想は下記アドレスまで

URL : <http://takotuboya.jp>

E-Mail : tk@takotuboya.jp

登場艦娘

金剛	榛名	比叡	霧島
大和	武蔵	陸奥	日向
翔鶴	瑞鶴	龍驤	隼鷹
飛鷹	瑞鳳	高雄	愛宕
那智	鳥海	利根	足柄
筑摩	熊野	最上	青葉
衣笠	古鷹	加古	摩耶
鈴谷	天龍	龍田	川内
球磨	那珂	神通	夕張
長良	鹿島	千歳	五十鈴
吹雪	初雪	白雪	不知火
卷雲	霞	霰	綾波
電	曉	陽炎	照月
睦月	江風	浜風	朝雲
大潮	親潮	叢雲	望月
長波	早波	村雨	時津風
雪風	夕雲	春雨	天津風
皋月	磯風	文月	五月雨
秋雲	弥生	舞風	黒潮
涼風	夕立	伊19	伊8

テートクの決断 鉄底海峡

TAKOTUBOYA

Adult Only